

しまわせ ぐんま



群馬県で **HAPPY♪** 子育て
応援情報冊子

家族のココロを満たそう。ぐんまで

皆さんはじめまして、群馬県です。
皆さんは群馬県のこと、ご存知ですか？

きらめくビル群はありませんし、人にぎわうビーチ也没有せん。
巨大観光都市でもありませんし、国際空港もありません。

でも、
山と川と温泉と、豊かな自然があります。
天気や季節を五感で感じ、
子どもが、家族が、のんびりと生活や余暇を楽しめる、
ゆとりの時間が群馬県にはあります。

満たされるのは、ココロ。
群馬県でHAPPY♪な新生活、始めてみませんか？

CONTENTS

第1章 知ってHAPPY♪群馬県のご紹介

- ライフスタイル別ぐんま移住目的地マップ…………… p03
- ぐんまの風土・文化・自然…………… p07
- ぐんまをデータで見る…………… p05
- ぐんまの交通利便性…………… p09

第2章 ババママがHAPPY♪群馬県で働く・住む

- ぐんまの働き方いろいろ…………… p11
- ぐんま移住者・お仕事インタビュー④【就農】…………… p16
- ぐんま移住者・お仕事インタビュー①【都内で働く】…………… p13
- ぐんまの住環境…………… p17
- ぐんま移住者・お仕事インタビュー②【転職】…………… p14
- ぐんまの「働く・住む」データいろいろ…………… p19
- ぐんま移住者・お仕事インタビュー③【就職】…………… p15
- ぐんまで働く・住むQ&A…………… p21

第3章 子どもがHAPPY♪群馬県で子育て

- ぐんまの子育て施策…………… p23
- ぐんま移住者・子育てインタビュー③【自然の中でアクティブ暮らし】…………… p37
- ぐんまの子育て応援施設…………… p25
- ぐんま移住者・子育てインタビュー④【技術力を活かした暮らし】…………… p39
- ぐんまの幼児教育・保育…………… p27
- ぐんま移住者・子育てインタビュー⑤【都内でお仕事暮らし】…………… p41
- ぐんまの学校教育…………… p29
- ぐんまの移住者サポート団体…………… p43
- ぐんまの医療…………… p31
- ぐんまの子育てサポート団体…………… p44
- ぐんま移住者・子育てインタビュー①【のんびり暮らし】…………… p33
- ぐんまで子育てQ&A…………… p45
- ぐんま移住者・子育てインタビュー②【街暮らし&週末のんびり暮らし】…………… p35

第4章 家族がHAPPY♪群馬県の余暇

- ぐんまの山遊び…………… p47
- ぐんまの温泉…………… p53
- ぐんまの水遊び…………… p49
- ぐんまの体験…………… p54
- ぐんまの公園・遊園地…………… p51

第5章 移住に役立つ知識・データ集

- ぐんま移住へのステップ…………… p57
- ぐんまの移住お役立ちサイト…………… p61
- 35市町村移住相談窓口…………… p58
- 東京都内の移住・就職窓口…………… p62
- ぐんまの就職・就業相談窓口…………… p60

コラム 移住の心強い味方をご紹介します！…………… p55



第1章

知ってHAPPY♪群馬県のご紹介

家族のライフスタイル別移住目的地や、
群馬県の概要、交通利便性まで、
群馬県の基本的なデータをご紹介します。

- ライフスタイル別ぐんま移住目的地マップ…………… p03
- ぐんまの風土・文化・自然…………… p07
- ぐんまをデータで見る…………… p05
- ぐんまの交通利便性…………… p09

ライフスタイル別 ぐんま移住目的地マップ

あなたの家族が望む暮らし方は、どんなもの？
ここでは群馬県内各地を、移住目的別に分類・ご紹介します。

のんびり暮らし

山間部など、群馬県内では比較的、田舎生活が楽しめる地域です。不便もありますが、雄大な自然と人の温かみが魅力です。

- こんな家族にオススメ
- 毎日をゆっくり過ごしたい
 - 季節の移ろいを五感で楽しみたい

移住者インタビューはp33へ

街暮らし&週末のんびり暮らし

群馬県内では比較的、商業施設や交通機関などが充実している都市部でありながら、週末には畑仕事や、県内レジャースポットへ出かけるなど、のんびりと趣味も楽しめる、いいとこ取りの地域です。

- こんな家族にオススメ
- あんまり不便な場所は嫌だ
 - 趣味と仕事のメリハリを楽しみたい

移住者インタビューはp35へ



自然の中でアクティブ暮らし

豊かな自然に囲まれ、山や川でのアクティブな趣味や仕事を最大限に楽しめる地域です。

- こんな家族にオススメ
- 自然を大いに満喫したい
 - 自然に関わる仕事を起こしたい、従事したい

移住者インタビューはp37へ

技術力を活かした暮らし

県内有数のものづくり地帯であり、自身の培った技術力を活かせる企業が多い地域です。

- こんな家族にオススメ
- 技術的な職種に転職したい

移住者インタビューはp39へ

都内でお仕事暮らし

都内への通勤利便性に秀でた地域です。今の会社で積み上げたキャリアを無駄にすることなく、移住をすることが可能です。

- こんな家族にオススメ
- 都内で働きたい

移住者インタビューはp41へ

ぐんまをデータで見ると

群馬県の人口は？気候は？概要は？

ここでは群馬県の基本的な情報をデータでご紹介します。



面積 6,362.28km²
(平成29年10月1日 国土地理院)

人口 1,983,386人
(平成30年9月30日時点)

市町村 35市町村
(発行日現在)

地勢

関東の北西部に位置し、埼玉県、栃木県、福島県、新潟県、長野県に隣接する群馬県。南東部は平坦地が広がり、北部は山地が多く、県の3分の2が森林という内陸県です。

関東地方の大切な水源である利根川の源流、2,000m級の山々、尾瀬などの貴重な湿原など、豊かな自然環境に恵まれています。

産業

本州のほぼ中央に位置し、高速道路・新幹線などの整備、自然災害の少なさなどから、工場や物流拠点施設が多く点在する群馬県。

自動車産業や電機産業も発達しており、長い年月を通して蓄積された高度な技術力と優れた技能を持つ企業も数多くあります。

また農業分野では、利根川水系の豊かな水源と全国トップクラスの日照時間という恵まれた条件から、多種多様な農畜産物が生産されているほか、高原野菜の産地としても有名です。

全国では21番目、関東では栃木県に次いで2番目の大きさです。可住地面積1kmあたりの人口密度は863人で全国20位。ちなみに東京都は9,604.7人で全国1位の人口密度です(総務省統計データ・社会生活統計指標—都道府県の指標—2018より)。



気候

- 【夏】** 標高の高い地域が多いため、涼しくて過ごしやすい気候です。
- 【冬】** 季節風に伴って雪や雨の降る日が多くなります。そのため、みなかみ地区、吾妻地区、片品地区、玉原・川場地区などはたくさんのスキー場があります。積雪量は地域によって違いがありますが、多くの地域で冬用タイヤが必要になります。
- 【夏】** 気温が高く、雨や雷が多い傾向です。
- 【冬】** 北部の山地で空気中の水蒸気が雨や雪となって降るため、冷たく乾いた季節風「からっ風」が吹きやすくなります。降雪はあまりありません。

日照時間(年間) 2,129時間 **全国6位**
(総務省統計局・統計でみる都道府県のすがた2018)

快晴日数 年間46日 **全国2位**
(総務省統計局・統計でみる都道府県のすがた2018)

位置

群馬県は東京都から100km圏内に位置し、東京駅から高崎駅までは新幹線で50分程度。このため、都内に通勤する人も多いのが特徴です。また高速道路では首都圏方面、新潟方面、長野方面、東北方面と各方面へアクセスできます。

物価水準

東京 104.4 **全国1位**
群馬 95.9
(総務省・平成28年小売物価統計調査 ※全国平均=100)

実は物価が日本一安く、家計に優しい県です。

保育施設の待機児童数 28人
(平成30年4月1日現在)

東京都の待機児童数は5,414人(平成30年4月1日現在)です。

ぐんまの風土・文化・自然

豊かな自然はもちろん、子どもから大人まで満喫できる食文化、古代から近代まで世界に誇る歴史と、群馬県は見どころいっぱいです。

山

ハイカーからクライマーまで人気の高い谷川岳をはじめ、裾野が長い赤城山など、群馬県には個性豊かな山々があります。なかでも尾瀬は希少な植物の多い湿原として国立公園や国の特別天然記念物に指定され、ラムサール条約湿地にも登録されており、その生態系は国際的な保護対象となっています。

県内の幼稚園や小学校、中学校では自然学習で訪れる機会も多い尾瀬国立公園



河川

首都圏の日常生活を支えている利根川水系の本流である利根川をはじめ、県内河川の水辺には自然が多く、県民の憩いの場や自然を学べる場となっています。また、県内の山岳地帯には数多くのダムがあり、見学会や点検放流などの各種イベントも行われています。

首都圏の生活や経済を支える利根川は、釣りや水遊びで親しまれています



食

地域によってさまざまな特色あるグルメを楽しめるほか、くだものや伝統食まで、多彩な食文化を誇る群馬県。ここではその一端をご紹介します。

ご当地グルメ

前橋豚料理

明治期から豚肉料理が好まれてきた前橋市。市内には自慢の豚肉料理を提供する店舗がたくさん!



いせさきもんじゃ

カレー味やいちごシロップ味など、一風変わったもんじゃ焼きは、伊勢崎市民のソウルフードです



太田焼きそば

ご当地グルメイベントでも常連の太田焼きそば。各店自慢の麺、具材、ソースは食比べの価値ありです!

高崎パスタ

例年行われるイベントで市内の飲食店がパスタ料理の腕を競う高崎市。個性的なパスタはどれもおいしいです



温泉

温泉王国の群馬県。県内のいたるところに温泉がありますが、なかでも草津温泉は古くから名湯と呼ばれ、江戸時代の温泉番付でも東の最高位の常連。

他にも、草津と並んで名湯と呼ばれる伊香保温泉や、1954年に国民保養温泉地の第一号として指定された四万温泉、昭和初期から首都圏の奥座敷として栄える水上温泉など、広く知られた有名温泉の数々が県内に点在しています。

草津温泉

温泉街の中心地にある湯畑は草津温泉を象徴する風景



富岡製糸場

近代日本の発展に寄与した日本初の官営模範製糸場



上野三碑

古代における東アジアの文化交流を伝える石碑群です



伊香保温泉

石段を上ると情緒ある温泉街を楽しめる伊香保温泉



くだもの

イチゴ

群馬県が開発したオリジナル品種「やよいひめ」は、今や群馬県外でも栽培される人気品種です



リンゴ

群馬県では、多くの品種を生産しています。県内では果樹園や直売所などでとれたてのりんごを楽しむことができます



伝統食

おっきりこみ

群馬伝統食のひとつが、幅広の生麺を野菜などと煮込んだ「おっきりこみ」。打ち粉が溶け出してとろりとした汁が麺に絡みます



多国籍料理

ブラジル料理

外国人も多く住む群馬県。ブラジル人移住者の多い大泉では、本場のブラジル料理が楽しめます



ぐんまの交通利便性

本州のほぼ中央に位置する群馬県は、交通の要衝として、太平洋方面、日本海方面どちらへのアクセスにも優れています。



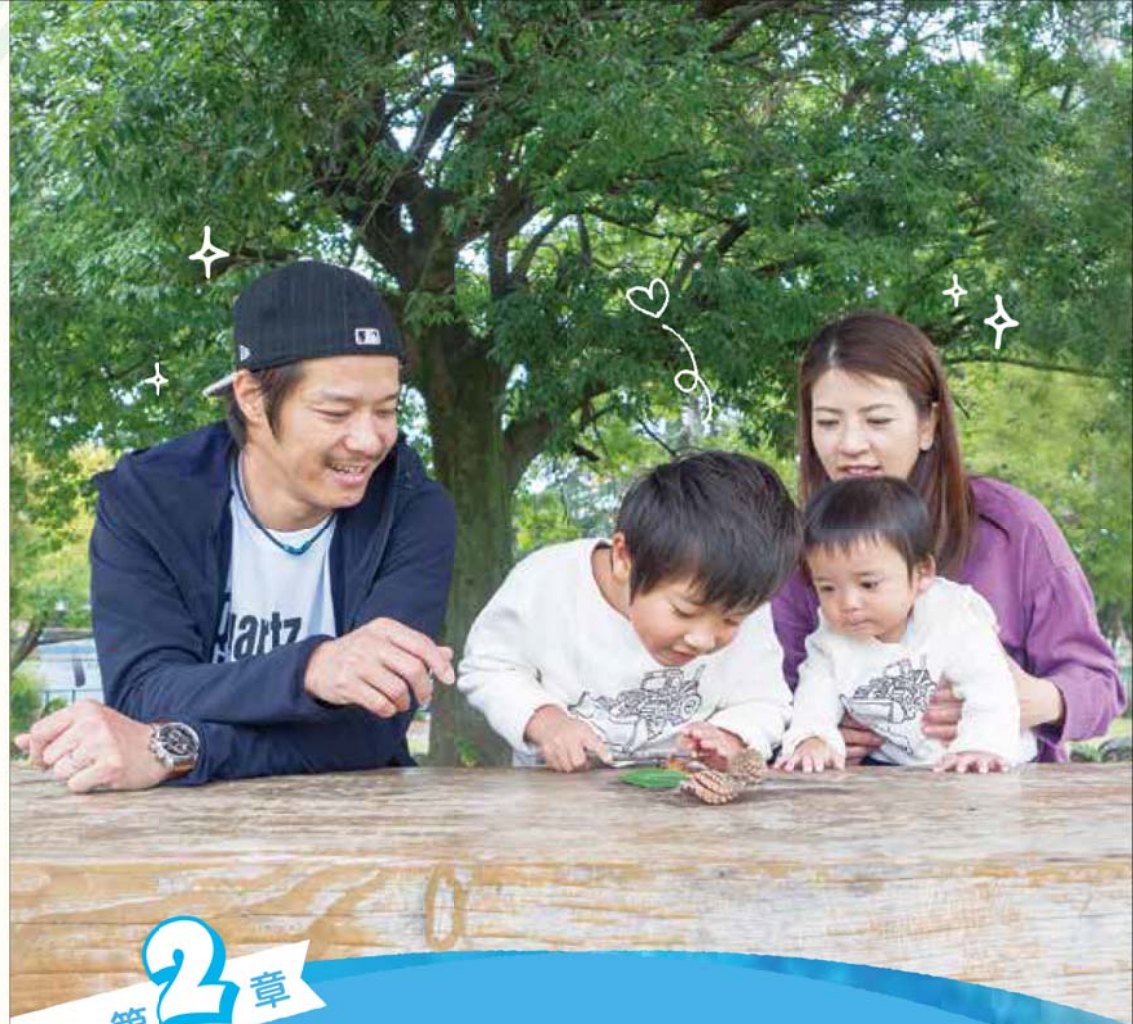
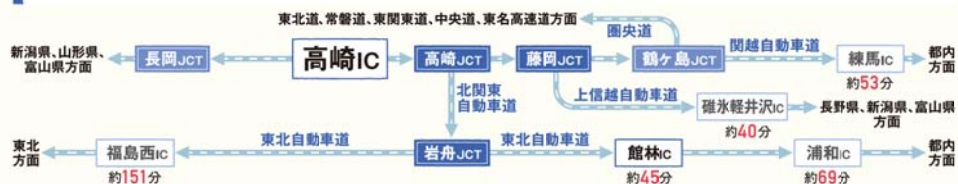
電車

※記載した時間は駅間のもの。乗車する車両によって時間は異なります。



自動車

※記載した時間は高崎ICから該当ICまでの時間。渋滞を考慮しない通常時間で表示しています。



第2章

パパママがHAPPY♪ 群馬県で働く・住む

移住で最初に気になるのは、働くことと住むこと。
生活の基盤だからこそ確かな情報収集と検討が必要です。

- ぐんまの働き方いろいろ p11
- ぐんま移住者・お仕事インタビュー①【都内で働く】 p13
- ぐんま移住者・お仕事インタビュー②【転職】 p14
- ぐんま移住者・お仕事インタビュー③【就職】 p15
- ぐんま移住者・お仕事インタビュー④【就職】 p16
- ぐんまの住環境 p17
- ぐんまの「働く・住む」データいろいろ p19
- ぐんままで働く・住むQ&A p21

ぐんまの働き方いろいろ

群馬県に移住しても働き方はいろいろあります。
それぞれのポイントをご紹介します!



都心で働く

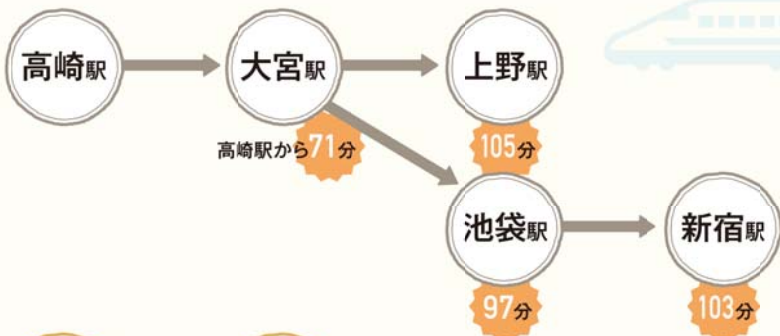
群馬県では都内への通勤も十分に可能です。特に高崎市と館林市は通勤で都内へ出やすいため、人気のエリアとなっています。時間をもっと効率的に使いたいという人は、新幹線で通勤するケースも増えてい

ます。東京駅まで1時間程度なので、ターミナルにして会社の最寄駅へ出るのにも便利。キャリアを無駄にせず、愛着ある会社で働きながら、子育てしやすい場所へ移住する。そんな選択肢が群馬県にはあるのです。

新幹線



在来線



東武伊勢崎線



長い目で見れば新幹線通勤もお得!?

新幹線通勤でネックになるのは料金。実際、東京ー高崎間の1カ月の通勤定期は101,720円(平成30年10月現在)です。会社から補助が出る場合もありますが、多くの企業は自腹。それでも新幹線通勤をする理由は、長期的にトータル額を見た場合、都内で高額な住宅を購入するよりは安く、満員電車のストレスも少ないからと言う移住者は多くいます。

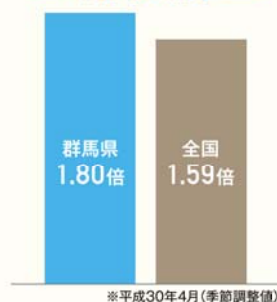
※時間は目安です。乗車する車両によって異なります。

転職する

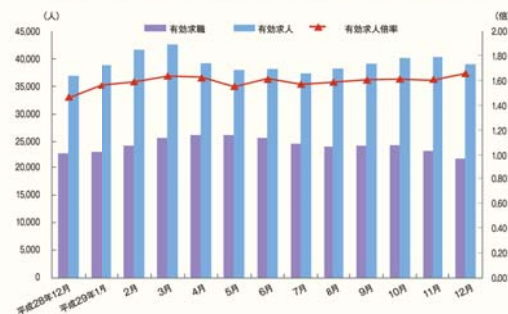
移住で転職を考える場合、働き口や求人の方が気になるものです。まず働き口ですが、群馬県では自動車産業や電機産業などの工場が多く、第2次産業就業者比率が30.8%で全国7位(総務省統計局・統計で

みる都道府県のすがた2018)。有効求人倍率は下图が示すように全国平均を上回っている状況であり、群馬労働局の調査による正社員の有効求人倍率も平成29年度は通年で全国を上回っています。

—有効求人倍率—



—有効求職・求人・求人倍率(季節調整)の推移—



子育てに優しい仕事環境

総務省統計局・平成29年就業構造基本調査によると、群馬県の育児をしている女性の有業率は70.0%となっており、全国平均(64.2%)や東京都(61.4%)より高くなっています。また、非正規職員・

従業員が現職の雇用形態についている主な理由として、「家事・育児・介護等と両立しやすいから」と答えた割合が、群馬県は関東で最も高くなっています。

就農する

群馬県南部では平坦な土地を活用した米麦、ハウスでの野菜栽培が多く、北部では昼夜の寒暖差による高原野菜やフルーツ栽培が盛ん。また赤城山や榛名山では畜産業が盛んで、北部森林地帯では林業も営

まれています。県では就農相談から就農後の支援まで体系的に支援していますので、興味のある方はお問い合わせください。(P60参照)

群馬県の就農支援策



農業産出額は全国でも上位

群馬県の第1次産業就業者比率は5%程度ですが、就業者1人当たりの農業産出額は579.5万円で全国5位。農家1軒当たりの耕作面積はさほど大きくないですが、生産性は高いということがデータで明らかになっています(総務省統計局・統計でみる都道府県のすがた2018)。

ぐんま移住者 お仕事インタビュー

都内で働く

高崎市在住 佐々木貴士さん

(2018年4月に東京都から移住)

移住の目的

- 子どもを自然豊かな環境で育てたい
- アウトドアを楽しみたい

アウトドア、畑仕事、リノベーション 群馬に移住して趣味が広がりました!

長男・将太郎くんの誕生をきっかけに、高崎市に移住した佐々木貴士さん。今は奥様・幸子さんの実家で、お義祖母様、お義母様と同居しています。でも、ここは仮住まいだそう。「実家の隣りにある築50~60年の空き家を自分でリノベーションしているんです。未経験のため、まだまだ完成は遠いですが」と笑います。

佐々木さんは東京の広告会社に勤務しています。自宅から高崎駅まで自転車で約10分。新幹線と在来線を使い継ぎ、御茶ノ水の会社までは約80分。「東京時代は自宅から会社までドアツードアで30分。今は1時間、早起きになりましたが、自分の時間が増えた感じ。新幹線の車内では宅建の資格取得の勉強をしています。家のリノベーションをしているうちに、建物に興味が出てきて……」。

東京生まれ、東京育ちの佐々木さんは、昔から「故郷がないことがコンプレックス」だったそうです。「学生時代、休みになると田舎へ帰省する友達がうらやましくて」。群馬県出身の奥様と結婚してからは、たびたび里帰りして趣味のスキーやアウトドアを楽しみ、群馬ファンに。そのせいか群馬県への引っ越しには少しの迷いもなかったそうです。「妻が一人で子育てをするのは厳しい。また、子どもを育てるには東京都よりも自然豊かな群馬県の方が断然よいと判断しました」。



1. 自転車も趣味の一つという佐々木さん 2. 毎朝、高崎駅までは自転車で移動 3. 実家の広い庭は遊び方自由!

奥様は3人兄妹で、2人のお兄さんがいます。「両方の兄の家族も近くに住んでいて、甥と姪が毎日のように遊びに来るんです。休日には総勢13人の親戚が集まってBBQすることもあります」と笑います。毎日がにぎやかで楽しいうえ、「将太郎にとっても、大家族のなかで育つのは理想的ですね」。

群馬県に来てから、食事変わったと話すと佐々木さん。「家庭菜園で採れる新鮮野菜がおいしくて。野菜をスーパーで買うことが減りました」。

佐々木さんが群馬県でお気に入りの場所はみなかみ町。「先日もキャニオニングに行ってきました。子どもが大きくなったら一緒にみなかみでアウトドアスポーツを楽しみたいです」とほほ笑みます。

ぐんま移住者 お仕事インタビュー

転職

高崎市在住 一柳大輔さん

(2016年4月に神奈川県から移住)

移住の目的

- 群馬にUターンしたかった
- のびのびと子育てがしたかった

便利さ・心地良さ・物価の安さがそろった 高崎はコストパフォーマンスが高い街

一柳大輔さんは前橋市出身。大学は東京へ進学し、卒業後も都内に残り、求人広告の会社に勤務していました。でも、「生まれ育った群馬県が好きで、30歳ぐらいになったら群馬県にUターンしようと考えていました」と話します。

その言葉どおり、28歳で都内の会社を辞め、前橋市社会福祉協議会に転職。念願のぐんま暮らしが始まりました。「子どものころから赤城山を見て育ったので、自然豊かな場所が落ち着くんです。また群馬県には学生時代からの友達が多い。東京に出て、改めて群馬の良さを発見した感じです」。社会福祉協議会という職場を選んだのも、仕事を通して、地元へ貢献したいという思いがあったから。

一柳さんの通勤もグンと楽に。東京時代は、満員電車で揺られて1時間。朝から疲労とストレスを感じていたそうです。群馬ではマイカーで、好きな音楽を聴きながら数十分。「通勤時間がリラックスタイムになりました」とニコリ。

そして、31歳のとき、東京時代から交際していた、のどかさんと結婚。のどかさんは都内の広告代理店の正社員です。「当初は東京都と群馬県で別居婚を思っていたのですが、すぐに妻が妊娠。群馬県で同居することになりました」と言います。



1. やりがいのある仕事に転職した一柳さん 2. 奥様は後々、都内の会社に復帰予定 3. 現在は高崎駅近くのマンションに在住

奥様が職場復帰しても新幹線通勤できるよう、高崎駅から徒歩15分圏に、新居となる賃貸マンションを探しました。「驚いたのは家賃。都内の2/3の価格で、駐車場付き。しかもこんなに便利な環境で。なんてコストパフォーマンスが高い街なんだろうと驚きました」。アウトレット巡りが趣味のご夫婦にとって、軽井沢まで新幹線で20分弱というのも高ポイントでした。

保育所の園庭もまちの公園も群馬県は広い。もうじき生まれてくる子どもが思い切り体を動かす環境が整っています。「これからも大好きな群馬県で、コミュニティーソーシャルワーカーとして、人と地域をつないでいきたいと思います」。

ぐんま移住者 お仕事インタビュー

就職

太田市在住 金山隆一さん

(2006年4月に大阪府から移住)

移住の目的

- 群馬の企業に就職した
- 社会人野球を続けたかった

夫婦共に関西出身 群馬＝田舎のイメージが変わった

大阪府出身の金山隆一さんが群馬県に移住したのは、太田市の株式会社SUBARUに就職したため。小学校から野球を始め、高3の夏には大阪府の上宮太子高校のピッチャーとして甲子園出場を果たした金山さん。その後、日本大学で野球を続け、「ゆくゆくは社会人野球に進みたいと考えていたとき、SUBARU野球部に所属していた大学のOBから「うちに来ないか」と声をかけていただいたのです」と言います。

移住する前は、「群馬＝田舎というイメージがあり、遊ぶところはあるのだろうか、交通の便はどうかかと心配でした」と振り返ります。2006年4月から同社野球部の寮で新生活をスタート。実際に住んでみると、「夏の猛暑と冬の空っ風にはビックリしましたが、それ以外、不自由を感じることはまったくありませんでした」と言います。JR太田駅の周辺にはにぎやかな繁華街が広がっていますし、近くに料金の安いゴルフ場がたくさんあるのも嬉しいポイントだったそう。また、「野菜や肉が新鮮でおいしいのも気に入りました」と話します。

2011年には、兵庫県出身の奥様・美幸さんと結婚。奥様も当初はぐんま暮らしに難色を示していましたが、ご主人同様、住んでみたら「意外にも快適」で、驚いたそう。2人の男の子が誕生してからは、ますます「群



1.株式会社SUBARUで生産ライン管制業務を担当 2.新築のマイホームで奥様と 3.「SUBARUふれあいの森赤城」でデイキャンプ!

馬で良かった」と思い始めたと言います。「ぐんま子どもの国をはじめ、大きな公園が近くにたくさんありますし、大型ショッピングモールもある。少し足を伸ばせば自然豊かな観光地も。親子で外出できる場所が豊富なのです」と金山さん。

2016年には太田市の中心街に、念願のマイホームも手に入れました。敷地面積は82坪で広い駐車場と庭があります。「僕が生まれ育った東大阪市で一戸建てを持つことは難しかったでしょうね」と話します。

現在、会社の野球部は引退し、太田球友硬式野球倶楽部で、趣味として野球を楽しんでいる金山さん。「子どもにも野球をやってほしい気持ちはありますが、強制はしたくないんです」と、父親の顔を覗かせました。

ぐんま移住者 お仕事インタビュー

就農

昭和村在住 猪股悠斗さん

(2018年1月に東京都から移住)

移住の目的

- 農業を一生の仕事にしたかった
- 自然の中で子育てしたかった

群馬の地で、持続可能な 循環型農業に取り組みたい

猪股悠斗さんは、奥様の麻希子さんと3人の男の子の5人家族。これまでは、東京都清瀬市にある二世帯住宅で、ご両親と同居していました。当時、猪股さんは大手飲食企業のサラリーマン。外食事業や宅食事業、農業まで幅広く手掛ける企業です。「いつの頃からか、農業をやりたいという気持ちが大きくなって、食の源は農業。人類にとって最も大切な仕事ではないだろうか、と考えました」と話します。その企業の農業部門に配属願いを出せば、希望はかなったでしょう。でも、猪股さんはあえて、長年勤めた会社を辞めて、群馬県で農業をする道を選んだのです。理由は、群馬県昭和村にある農業法人グリーンリーフ社長・澤浦彰治さんとの出会いでした。舞台は都内の「新農業人フェア」の会場。「以前から澤浦社長のことは本で読んで知っていました。実際に話をしてみたら、なんて温かくてエネルギーな人なんだらうと感動しました」。

1カ月後にはインターンとして、家族と共にグリーンリーフを訪訪。「東京の実家から車で1時間半、こんな近い場所に、こんな豊かな自然が広がっているとは」と驚いたそうです。「事業を積極的に拡大していきたい」、澤浦社長の夢と一緒に追いかけていく決断をした猪股さん。奥様からも子どもたちからも反対はありませんでした。「大手企業は安定していますが、冒険はできない。また、頻繁な転勤も悩みの種です。国内だけ



1.「農業は大変だけどやりがいがある」と話す猪股さん 2.コンパインの運転もお手のもの 3.群馬の肉はおいしい〜!

でなく海外転勤もあります。単身赴任で家族がバラバラになるよりも、群馬県で農業をしながらみんなで一緒に暮らす方が幸せだと考えました」。

現在は会社から徒歩数分、広い庭付きの一戸建てに暮らす猪股さん親子。なんと、会社の社宅だそう。「夜はきれいな星空を眺め、休日は庭でBBQを楽しんでいます」。奥様も同じ会社の漬物工場でパート勤務をスタート。上2人のお子さんは村の保育所に、1番下のお子さんは社内にある利用料無料の託児所に預けています。「時々、子どもと一緒に畑仕事をするのですが、自分で収穫した野菜は残さず食べる。良い食育になっています」。群馬県で循環型農業を確立させること、それが猪股さんのライフワークだそうです。

ぐんまの住環境



家族の生活において大きなウェイトを占める住環境。
賃貸も購入もリフォームも、群馬県なら大きなメリットがあります。

東京都と群馬県の住宅にかかるお金の比較

広い庭の
一戸建ても
夢じゃない!

住宅地平均価格(1㎡あたり)

東京都 **354,600円**

群馬県 **30,200円**

(平成30年都道府県地価調査)

1住宅あたりの敷地面積

広々とした
敷地!

東京都 **140㎡**

群馬県 **355㎡**

(総務省・統計でみる都道府県のすがた2018)

1住宅あたり延べ床面積

ゆとりの
ある
間取り!

東京都 **64.48㎡**

群馬県 **109.89㎡**

(総務省・平成25年 住宅・土地統計調査)

1カ月あたり家賃(民営・10坪)

群馬県は
東京都の
半分以下!

東京都 **86,200円**

群馬県 **36,790円**

(総務省・統計でみる都道府県のすがた2018)

群馬県で家を借りたい・買いたいときのお役立ち情報

家を借りる・買う際、頼りになるのは地域の不動産業者です。でもその前に、群馬県や市町村、公社が行っ

ている取り組みも知っておくべき。意外にお得な情報が見つかるかもしれません。

群馬県の宅地分譲

群馬県企業局では、宅地を分譲しています。なかでも板倉ニュータウンは、東洋大学のキャンパスがあり、東北自動車道のインターチェンジまで約10分、東武日光線が北千住まで約1時間という好立地。実際

に、都内へ通勤している移住者の方もいます。群馬県が分譲しているので建築条件がなく、好きなハウスメーカーを選択できるのも人気の理由。詳細は、県のホームページを確認してください。



板倉ニュータウン

自然の宝庫「渡良瀬遊水地」まで至近距離にあり、豊かな緑に囲まれたロケーションが魅力。92区画分譲しており、平均面積は約76坪。分譲価格は595万円～



ふれあいタウンちよだ

134区画を分譲中。平均面積は約80坪で、分譲価格は484万円～(分譲地には2つのエリアがあり、県企業局と千代田町がそれぞれ分譲しています)。

自治体の空き家バンク

空き家バンクとは、自治体が行う空き家の有効活用施策。空き家を貸したい・売りたい人と、借りたい・買いたい人をマッチングさせる仕組みです。群馬県では桐生市、伊勢崎市、館林市、渋川市、藤岡市、富岡市、安

中市、みどり市、神流町、下仁田町、南牧村、甘楽町、長野原町、高山村、片品村、昭和村、みなかみ町で空き家バンクを運営しています(発行日現在)。

市町村ごとの補助

各市町村では、住宅取得やリフォームにかかる費用の一部を補助したり、太陽光発電設置費用を補助す

るなど、独自の取り組みを行っている場合があります。詳細は、各市町村へお問い合わせください。

群馬県住宅供給公社

県営住宅をはじめ、市営・町営住宅、公社の賃貸住宅まで、多彩な情報を紹介。住まいの相談などにも応じてくれる群馬県住宅供給公社。群馬県に移住を検討される際にはウェブサイトを確認してくださいね。



ぐんまの「働く・住む」データいろいろ

このページでは、各種統計や調査からわかる「ぐんまのいいところ」をご紹介します。
群馬県に移住するメリットはまだまだまだたくさんあります！

平均帰宅時間

東京都 **19時13分**

群馬県 **18時54分**

(総務省・平成28年社会生活基本調査)

家族の時間も
たくさん！

通勤・通学時間

東京都 **94分**

群馬県 **69分**

(総務省・平成28年社会生活基本調査)

通勤・通学時の満員電車は
群馬県ではあまり見かけない光景です！

夫婦の共働き率

東京都 **49.1%**

群馬県 **51.1%**

(総務省・平成29年就業構造基本調査)

保育所や幼稚園が充実しているから
夫婦で共働きもしやすい！

過去1年間に「園芸・庭いじり・ガーデニング」した人の割合

東京都 **20.7%**

群馬県 **32.1%**

(総務省・平成28年社会生活基本調査)

身近に
「園芸・庭いじり・ガーデニング」が
できる環境がある！

自然災害

気象庁の統計によると、群馬県は関東の他都県に
比べ過去に発生した震度4以上の地震回数が少なく、
地震の少ない県と言われています。

群馬県の「子育て満足度」は関東1位

総合
結果

「ミキハウス」でおなじみの三起商行株式会社は2017年、関東1都6県の1歳までの子どもがいる「ミキハウスベビークラブ会員」を対象に、「パパ・ママ目線による子育て満足度調査」を実施しました。

調査は、「子育て支援」「医療体制」「遊び場」「コミュニティ」「教育」「治安、安心・安全」「自然環境」「金銭面」の8項目について、満足度を5段階で評価。その結果、群馬県は8項目中5項目でトップの満足度となり、総合1位に選ばれています。

調査方法：会員向けインターネット調査 有効回答数：1865

		満足度
1	群馬県	3.61
2	栃木県	3.57
3	東京都	3.46
4	神奈川県	3.41
5	埼玉県	3.38
6	千葉県	3.36
7	茨城県	3.25
	平均	3.43

群馬県が1位となった項目と寄せられたコメント

子育て支援		コミュニティ		治安、安心・安全		自然環境		金銭面	
	満足度		満足度		満足度		満足度		満足度
1	群馬県 3.80	1	群馬県 3.83	1	群馬県 3.46	1	群馬県 4.09	1	群馬県 3.77
2	栃木県 3.55	2	栃木県 3.73	2	東京都 3.44	2	栃木県 3.95	2	東京都 3.68
3	茨城県 3.02	3	神奈川県 3.66	3	神奈川県 3.37	3	茨城県 3.89	3	千葉県 3.65
4	埼玉県 2.98	4	東京都 3.62	4	栃木県 3.36	4	神奈川県 3.65	4	埼玉県 3.63
5	東京都 2.87	5	千葉県 3.55	5	埼玉県 3.30	5	埼玉県 3.56	5	栃木県 3.61
6	千葉県 2.86	6	埼玉県 3.51	6	千葉県 3.19	6	千葉県 3.56	6	茨城県 3.57
7	神奈川県 2.76	7	茨城県 3.45	7	茨城県 3.15	7	東京都 3.48	7	神奈川県 3.55
	平均 3.12		平均 3.62		平均 3.32		平均 3.74		平均 3.64

子育て支援

- 市内に保育所、幼稚園が多数あり選べる。相談窓口がたくさんあってサポートが充実している(28歳女性)
- 医療費無料、待機児童もほぼゼロ。子育て支援カードがあり提携店も多い。子どもに対する地域の目も優しいと思う(39歳女性)

治安、安心・安全

- 事故が少ない。警察のパトロールもよく見かける(30歳女性)
- 子育て世代が多く、すれ違う時に挨拶を交わすことが当たり前の地域だから(34歳女性)

コミュニティ

- 近所の方は会えばよく声をかけてくれる。分からないこと、心配なことがあれば保健センターの保健師さんが相談に乗ってくれるので、安心して子育てができる(29歳女性)
- 隣同士で子どもを遊ばせていたり、集団登校したり環境はよい(37歳女性)

自然環境

- 近くに大きな川や山などがあり、林間学校等ができる施設も整っている(28歳女性)
- 自然が多く静かな環境で、子育てがしやすい。静かさや自然環境、公園の多さはよい(35歳女性)

金銭面

- 今のところ収入と支出のバランスはとれている。ドラッグストアやレストランなど、パート雇用を募集しているお店も多く見受けられるので、これから自分が働きに出る時にも不安はあまりない(30歳女性)

ぐんまで働く・住む



群馬県で働くこと・住むことについて、もっと知りたい！
そんなあなたのために疑問＆質問を集めてみました。

Q 群馬県の通勤には
自動車が必要になりますか？

A もちろんバスや電車などの公共交通もありますが、通勤には多くの方が自動車を使用しています。満員電車を我慢する必要がない、暑さや寒さ、悪天候時でも快適なプライベート空間を確保できるなど、移住者の方々には好評です。買い物などの日常生活もドアツードアで便利です。



Q 群馬県では
持ち家の比率が高いのでしょうか？

A 総務省統計局が発表している「平成25年住宅・土地統計調査確報集計」によれば、群馬県では持ち家の割合が70.6%で、記録が残っている昭和38年から70%前半で推移しています。ちなみに、建て方別の割合をみると、一戸建ては昭和53年の84.9%をピークに徐々に低下していますが、共同住宅は昭和43年の5.9%から一貫して上昇。近年、高崎駅周辺は特にマンション建設が多く、都内へ通勤する人々にとっては人気スポットになっています。

Q 群馬県の最低賃金は
いくらですか？

A 群馬県最低賃金(地域別最低賃金)は、平成30年10月6日現在で、809円です。

Q 群馬県への転入者数は
どれぐらいいますか？

A 群馬県が発表している平成29年群馬県移動人口調査結果(平成28年10月～平成29年9月・年報)によると、調査期間中の県外からの転入者数は、合計で41,055人で、高崎市、前橋市、太田市、伊勢崎市、邑楽郡など、交通が便利で産業が集積した平野部が多くなっています。一方、山間部でも「自然の中でのびのび子どもを育てたい」「農業や林業を始めたい」など、新たなライフスタイルを求めて移住する人が年々増加しています。

Q 群馬で子育てをしながら仕事を
探したい場合、どんなサポートが
受けられますか？

A 群馬県では、就職に関する様々なサービスを提供する「ジョブカフェぐんま」を県内3カ所(高崎・沼田・桐生)で運営しています。また、子育て中の女性を中心とした方の仕事探しをサポートするため、ジョブカフェぐんま高崎センター内に「ジョブカフェ・マザーズ」を開設し、きめ細やかなキャリアカウンセリングを実施しています。キッズコーナーもありますので、お気軽にご利用下さい。



第3章

子どもがHAPPY♪ 群馬県で子育て

本冊子の主題である子育てのための移住。

この章では群馬県が誇る子育て施策や魅力をとことんご紹介します。

- ぐんまの子育て施策 p23
- ぐんまの子育て応援施設 p25
- ぐんまの幼児教育・保育 p27
- ぐんまの学校教育 p29
- ぐんまの医療 p31
- ぐんま移住者・子育てインタビュー①【のんびり暮らし】 p33
- ぐんま移住者・子育てインタビュー②【街暮らし&週末のんびり暮らし】 p35
- ぐんま移住者・子育てインタビュー③【自然の中でアクティブ暮らし】 p37
- ぐんま移住者・子育てインタビュー④【技術力を活かした暮らし】 p39
- ぐんま移住者・子育てインタビュー⑤【都内でお仕事暮らし】 p41
- ぐんまの移住者サポート団体 p43
- ぐんまの子育てサポート団体 p44
- ぐんまで子育てQ&A p45

ぐんまの子育て施策



群馬県民の子育ては、群馬県が手厚くサポート。
日々の生活がお得になる施策から、育児を手助けしてくれる施策まで勢ぞろい！

ぐんまちょい得キッズパスポート

ぐんまちょい得キッズパスポート(通称ぐーちょきパスポート)とは、協賛店舗で提示すると、店舗の厚意によって割引やプレゼントといった、「ちょい得」なサービスを受けられるカードです。

カードがもらえる対象は、群馬県に住んでいるか、子どもが県内に通学・通園している子育て世帯。18歳

に達して最初の3月31日を迎えるまでの子どもがいる家庭と、妊娠中の人がいる家庭がもらえます。

実際に、県内では多くの子育て世帯が使用しているこのカード。子ども1人、もしくは妊婦1人につき1枚がもらえるので、群馬県に移住したらぜひ県庁や市町村の窓口で申請して受け取ってくださいね。



POINT!
妊娠中から
もらえちゃう

POINT!
協賛店舗は
(ぐーちょきショップ)
5,700店以上!
(2018年11月現在)

POINT!
18歳まで
使えちゃう

提供サービスの例

- お買い上げ金額から**5%割引**
- 子ども用**デザートサービス**
- レッスン体験**無料**
- ポイント**2倍**
- 旅館宿泊料**5%割引**
- 塾入会金**無料**
- 子ども用ドリンクを**1杯サービス**
- 博物館入館料**100円割引**

ファミリー・サポート・センター

ファミリー・サポート・センターとは、育児の援助を受けたい人と、援助を行いたい人が助け合う地域の会員組織で、市町村によって設立運営が行われています。

援助を受けたい人、援助を行いたい人、どちらもセンターに申し込んで会員となる必要がありますが、特

別な資格は不要です。援助を受けたい人、援助を行いたい人のマッチングなどはファミリー・サポート・センターが行うので安心。

なかには病児・病後児の預かり支援が可能なファミリー・サポート・センターもあるなど、支援内容はそれぞれ。群馬県内では19市町村で実施されています。



育児支援の一例

- 保育所等までの送迎
- 学校の放課後や学童保育終了後に子どもを預かる
- 保護者の病気や急用時に子どもを預かる
- 学校の夏休みに子どもを預かる

群馬県で実施している市町村

前橋市/高崎市/桐生市/伊勢崎市/太田市
/沼田市/館林市/渋川市/藤岡市/富岡市
/安中市/みどり市/榛東村/吉岡町/甘楽町
/みなかみ町/玉村町/大泉町/邑楽町

安全安心な保育施設

群馬県の保育所や認定こども園の数は499施設(2018年4月1日現在)と、都心部に比べて数は少ないですが、その分、きめ細やかに行政の目が行き届いています。

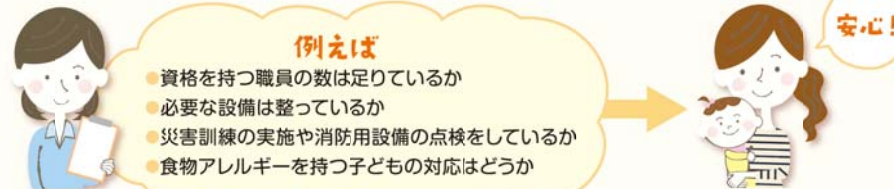
施設へ県職員が直接出向いて、実際の保育の様子を確認や聞き取り調査により、必要な指導や情報の提供を行うことで、子どもたちが安心して笑顔で過ご

せ、健やかに育つことを保証しています。

毎年度、全施設100%の実施率ですので、安心してお子様をお預けください。

また、ベビーホテルなどの認可外保育施設にも、毎年度立入調査を行っています。

なお、中核市である前橋市・高崎市でも、各市において100%実施されています。



例えば

- 資格を持つ職員の数に足りているか
- 必要な設備は整っているか
- 災害訓練の実施や消防用設備の点検をしているか
- 食物アレルギーを持つ子どもの対応はどうか

ぐんまの子育て応援施設



子どもの心身の成長には、多様な体験が最適。

ここでは頭も体も心も刺激する県内の子育て応援施設をご紹介します。

群馬県立ぐんま昆虫の森

桐生市

全国的にもユニークな、昆虫をテーマにした体験型教育施設。広大な敷地では昆虫を探して観察でき、昆虫観察館では多彩な展示が楽しめます。



館内では一年中、里山の生き物や世界の昆虫、日本最大級のチョウ・オオゴマダラなどが見られます

〒桐生市新里町鶴ヶ谷460-1
 ☎9:30～17:00(4月～10月。11月～3月は16:30まで。入園は閉園30分前まで)
 ☎月曜(祝日の場合は翌火曜)、年末年始、ほか
 ☎一般410円、大学生・高校生200円、中学生以下無料
 ☎0277-74-6441

桐生が岡動物園・遊園地

桐生市

遊園地と動物園は入場無料のうえ併設されているので、自由に行き来ができます。特に動物園は、キリンやライオンなど本格的な展示を誇ります。



動物園では117種700点を展示(平成30年9月1日現在)。園内にはワニなどを展示する水族館もあります

【動物園】
 〒桐生市宮本町3-8-13
 ☎9:00～16:30
 ☎無休 ☎無料
 ☎0277-22-4442

【遊園地】
 〒桐生市宮本町4-1-1
 ☎9:30～17:00(3月～10月。11月～2月は16:00まで)
 ☎火曜(月により変更あり)
 ☎遊具1回大人200円、子供100円
 ☎0277-22-7580

群馬県立自然史博物館

高岡市

地球の誕生から生命の進化の歴史、群馬県の豊かな自然を紹介する博物館。多彩な企画展やイベントを行っているのて何度も楽しめます。



興味深い常設展はもちろん、春、夏、秋の年3回行われる企画展も大人気。土日は多くの家族連れでにぎわいます

〒富岡市上黒岩1674-1
 ☎9:30～17:00(入館は16:30まで)
 ☎月曜(祝日の場合は翌火曜)、年末年始、ほか
 ☎一般510円、大学・高専・高校生300円、中学生以下無料
 ☎0274-60-1200

群馬県生涯学習センター少年科学館

前橋市

わくわく体験ができる科学展示室のほか、プラネタリウム、天文コーナーなどを併設。サイエンスショーや実験コーナーで知的好奇心に応えます。



県生涯学習センターでは、乳幼児の遊びやふれあい、保護者同士の情報交換の場として育児学習室も設置しています

〒前橋市文京町2-20-22
 ☎9:00～16:30
 ☎月曜(祝日の場合は翌火曜)、年末年始、ほか
 ☎無料(プラネタリウムは高校生以上300円)
 ☎027-220-1876

子どもを連れていきやすい大型モールも充実!

群馬県内には、大型ショッピングモールが複数あります。小さな子ども連れでも安心できるキッズカートや授乳室はもちろん、食料品や衣料品、日用雑貨などの買い物、映画館での娯楽なども楽しめるので、家族がのんびり一日を過ごせます。



イオンモール高崎の外観。群馬県とイオン株式会社は地域活性化包括連携協定を締結しています。

カネコ種苗ぐんまフラワーパーク

前橋市

花と緑を楽しめる憩いの公園です。アスレチック遊具やジャブジャブ池は子どもたちに大人気です。11月上旬から1月上旬にはイルミネーションが楽しめる夜間開園もあります。



子どもたちに大人気のジャブジャブ池。暑い夏は水着になって大はしゃぎです

〒前橋市柏倉町2471
 ☎9:00～17:00(11月～2月は16:00まで)
 ☎無休
 ☎中学生以下無料、4月～6月700円、7月～3月600円、わんちゃん200円
 ☎027-283-8189

県立ぐんま天文台

高山村

天文学を通じて学校・地域と協働し、多様な学習機会を提供することを目標に掲げる天文台。日中の施設見学のほか、夜には天体観望も行えます。



豊かな自然のなかで、150cm反射望遠鏡を使った観察を楽しめる。年間を通じた多彩なイベントも注目です

〒吾妻郡高山村中山6860-86 ☎3月～10月/施設見学10:00～17:00、天体観望19:00～22:00(土日祝日。*水曜～金曜は予約団体のみ) ※11月～2月は閉館及び観望開始時間が1時間早まる。また入館受付は昼夜ともに閉館30分前まで ☎月曜(祝日を除く)、ほか ☎大人300円、大学・高校生200円、中学生以下無料 ☎0279-70-5300

向井千秋記念子ども科学館

館林市

日本初の女性宇宙飛行士である館林市出身の向井千秋さんに関連した資料展示や、プラネタリウム、科学実験などのイベントも多彩な施設です。



最新のデジタルプラネタリウムでは迫力のある映像とサウンドが楽しめます。直径23mの大型ドームは県内最大です

〒館林市城町2番2号 ☎9:00～17:00(入館は16:30まで)
 ☎月曜(祝日の場合は翌火曜)、土日を除く祝日の翌日、年末年始、ほか
 ☎高校生以上320円、他無料(プラネタリウムは小・中学生210円、高校生以上540円)
 ☎0276-75-1515

碓氷峠鉄道文化むら

安中市

日本初のアプト式鉄道の導入や幹線電化などを実現した旧碓氷線。その歴史を伝え、子どもから鉄道ファンまで楽しめる鉄道のテーマパークです。



園内には30車両以上が展示されているほか、電気機関車EF63の運転体験やトロッキ列車への乗車も可能

〒安中市松井田町横川407-16
 ☎9:00～17:00(11月～2月は16:30まで。入園は閉園の30分前まで) ☎火曜(8月を除く)、12月29日～1月4日
 ☎中学生以上500円、小学生300円、小学生未満無料(体験施設利用料金は別途)
 ☎027-380-4163

ぐんまの幼児教育・保育



群馬県に移住してきた未就学児が日中の時間を過ごす幼児教育・保育施設。幼稚園、保育所、認定こども園。群馬県には特色ある施設がたくさんあります。

いろいろな選択肢

小学校入学前の子どもを教育・保育する施設としては、従来から保育所と幼稚園があります。保育所は、0歳から小学校入学前の乳児または幼児を保育することを目的としているのに対して、幼稚園は3歳以上の幼児の教育が目的。細かな部分で言えば、給食の有無や教育・保育時間、保育料などに違いがあります。

こうした保育所と幼稚園の両方の良さを併せ持ち、保育と教育を一体的に行うだけでなく、子育て支援の総合的な提供を目的として創設されたのが認定こ

ども園です。基準を満たして都道府県などから認可・認定を受けた施設のことを指します。その数は今や、全国で6,160カ所(内閣府資料・平成30年4月1日現在)。群馬県は公立11カ所を含めて206カ所あり、全国6位の数です。

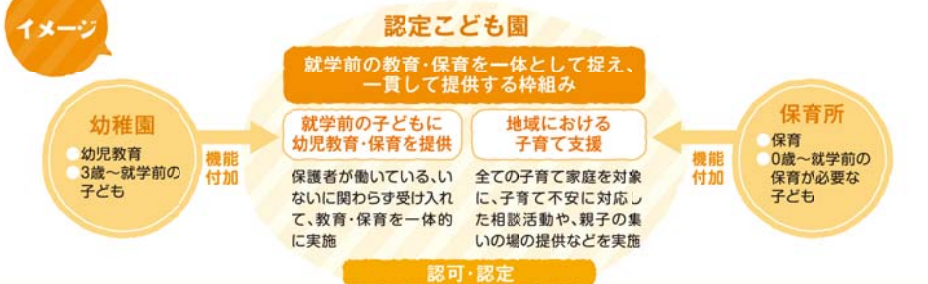
このように、群馬県にはさまざまな特色ある施設があり、待機児童もほとんどいないため、子どもや家族に合った選択をすることができます。

認定こども園って？

機能

- 就学前の子どもに幼児教育・保育を提供する
(保護者が働いている、いないに関わらず受け入れて、教育・保育を一体的に行う機能)
- 地域における子育て支援を行う
(全ての子育て家庭を対象に、子育て不安に対応した相談活動や、親子の集いの場の提供などを行う機能)

イメージ



認定こども園の種類

認定こども園は、地域の実情や保護者のニーズに応じて選択が可能になるよう、多彩なタイプがあります。

\\ 幼保連携型 \\

幼稚園の機能と保育所的機能の両方を併せ持つ単一の施設として、認定こども園としての機能を果たすタイプ。

\\ 幼稚園型 \\

幼稚園が、保育が必要な子どものための保育時間を確保するなど、保育所的な機能を備えることで認定こども園としての機能を果たすタイプ。

\\ 保育所型 \\

保育所が、保育が必要な子ども以外の子どもも受け入れるなど、幼稚園的な機能を備えることで認定こども園としての機能を果たすタイプ。

\\ 地方裁量型 \\

幼稚園・保育所いずれの認可もない地域の教育・保育施設が、認定こども園として必要な機能を果たすタイプ。

群馬県の保育の特色

県内の幼稚園、保育所、認定こども園は、園によって実にさまざまな特色、教育・保育方針を持っています。

例えば、丈夫な体づくりを目指して園庭を素足で走り回る園、豊かな自然を子どもの遊び場としている園、子どもたちが自ら農作物を育て収穫体験を行うこ

とで食育を推進する園、英語や音楽に親しむことを積極的に取り入れる園、地域の年配者との触れ合いなど多世代交流を取り入れている園など多種多彩。

子どもの興味関心はもちろん、家族の教育方針と併せて選んでみてはいかがでしょうか。



自然が遊び場



英語遊び



農業体験



地域で多世代交流



音楽遊び

群馬県内の保育施設の情報は「ぐんま子育て応援サイト 子育てネット」で検索を!

群馬県が運営している子育てネットでは、一時預かりや病児保育、延長保育対応など多彩な条件検索から、幼稚園、保育所、認定こども園などを検索することができます。ぜひ活用ください。



ぐんまの学校教育



数ある公立学校から、特色ある教育を行う私立学校まで。
このページでは、群馬県の学校教育の特徴についてご説明します。

「ぐんまの学校教育」いま・むかし

明治初期、群馬県では生糸などの海外輸出を背景に欧米文化を積極的に受け入れ、学校の設立が促されることで「東の群馬、西の岡山」といわれる教育県となりました。現在も、建学の精神が受け継がれた数ある私立学校で、特色ある学校教育が行われています。また、東京都などに比べ群馬県では多くの児童生

徒が公立の小学校・中学校に進学していますが、それでもしっかりと学力を身につけるとともに、身近な自然の中で社会性や生活習慣を養っています。群馬県では、私学振興にも力を入れ、学習費用を抑えつつも、子どもの多様なライフプランの実現が可能と言えます。

学習費総額



東京都の私立中学校進学率は全国1位

文部科学省の学校基本調査(平成29年)によれば、私立中学校への進学率は全国で7%程度ですが、東京都は24%以上で全国1位。東京都では義務教育を終えるまでに多額の費用がかかる場合が多くなっています。

恵まれた自然環境を生かした教育

尾瀬学校・芳ヶ平湿地群環境学習

美しい自然と貴重な生態系を持ち、「自然の宝庫」と称されている尾瀬。ラムサール条約湿地にも登録されている芳ヶ平湿地群。

群馬県では、こうした自然を「環境教育の場」と考え、平成20年度から尾瀬学校を、平成30年度から芳

ヶ平湿地群環境学習を進めています。ガイドを伴った少人数のグループによる質の高い自然体験を通して、身近な自然を守ることの大切さや、郷土を愛する心を育むことが可能です。



尾瀬学校



芳ヶ平湿地群

提供：中之条町

きめ細かな指導の充実 ～ぐんま少人数クラスプロジェクト～

群馬県では、少人数学級編制や少人数指導を中心に、学年の発達段階に応じた指導体制を充実させて

います。これにより、児童生徒の基本的な生活習慣の確立と、基礎学力の定着を目指しています。

\\ 小学校低学年 // 30人以下学級
\\ 小学校中学年 // 35人以下学級

\\ 中学校1年 // 35人以下学級

学力と社会性を育む ぐんま方式

「ぐんま方式」の学級編制で、きめ細かな指導を充実させることにより、基礎学力の定着及び向上、社会性の育成を図ります。中学校1年生では中1ギャップの解消をねらい、中学校生活によりよく適応するための支援体制を強化しています。

平成30年度全国学力・学習状況調査結果

\\ 小学校6年生平均正答率 //

国語		算数				理科	
A知識	B活用	A知識	B活用	知識・活用	知識・活用	知識・活用	知識・活用
本県	全国	本県	全国	本県	全国	本県	全国
71	70.7	54	54.7	62	63.5	50	51.5
61	60.3						

\\ 中学校3年生平均正答率 //

国語		数学				理科	
A知識	B活用	A知識	B活用	知識・活用	知識・活用	知識・活用	知識・活用
本県	全国	本県	全国	本県	全国	本県	全国
77	76.1	63	61.2	67	66.1	48	46.9
69	66.1						

中学校では全国平均を上回る学力に!

平成30年度の全国学力・学習状況調査の結果によれば、群馬県の小学校6年生は、全国平均と同程度かやや下回るものの、中学校3年生は全ての教科

で全国平均を上回っており、中学校で学力が伸びています。公立中学校へ進学しても子どもたちはしっかりと学力を身に付けています。

県立青少年自然の家

3つの県立青少年自然の家(北毛・妙義・東毛)では、恵まれた自然環境の中で、四季折々の植物や野鳥の観察、野外炊飯、登山、自然観察などの野外活動が体験できます。

また雨天や冬期でも楽しめる多彩なプログラムを用意しています。



県内の学校情報は「群馬県総合教育センター」で検索

群馬県には公立・私立共に、バラエティ豊かな学校がたくさんあります。県内の小学校、中学校、高校の情報は「群馬県総合教育センター」のウェブサイトにて検索が可能です。



ぐんまの医療



生活していくなかで気になるのは医療の充実ではないでしょうか。
群馬県では子育て世帯に嬉しい制度、確かな医療体制が整っています。

群馬県は中学生までの医療費が無料！

群馬県では、子育て世帯の負担を軽減するとともに、子どもたちが安心して必要な医療を受けられるよう、県内に住んでいる中学校卒業までの子ども(15歳に達する日以後の最初の3月31日までの子ども)の医療が無料で受けられる制度を実施しています。

所得制限や受診時の窓口での自己負担がなく、入院・通院ともに中学校卒業までを対象としている群馬県の制度は、全国でもトップレベルの手厚さであり、利用しやすい制度となっています。

全国トップレベルの手厚い制度

入院・通院ともに
中学校卒業までの子どもが対象

所得制限なし

受診時の
窓口負担なし

迅速な群馬県の救急医療体制

家族に万が一のことがあった場合に頼る救急車。しかし近年、専門医師の不在などを理由とした病院の受け入れ拒否と、それに伴う救急車のたらい回しが社会問題になるケースもあります。

消防庁が発表した「平成29年版 救急・救助の現況」によれば、救急隊の現場到着所要時間において、群馬県は平均7.8分と全国平均の8.5分を下回る実績。関

東地方では唯一の7分台で一番早い結果となりました。さらに病院収容所要時間でも、全国平均の39.3分を大幅に下回る36.6分を実現し、これも関東地方で一番早いという結果が出ています。

たらい回しされず、救急医療を迅速に受けられる。群馬県の医療は、子育てを行っている家族にとって心強い特長を持っているのです。

救急隊の現場到着所要時間

全国平均 ▶ 8.5分 群馬県 ▶ 7.8分

病院収容所要時間

全国平均 ▶ 39.3分 群馬県 ▶ 36.6分

究極の往診システム・ドクターヘリも運航！

群馬県では救急医療体制の充実を目的に、前橋赤十字病院を基地病院としてドクターヘリも運航しています。



群馬県の中核を担う医療機関

迅速な救急医療体制の整った群馬県ですが、医療機関も充実しています。なかでも下で紹介する3つの病院は、子育てをする家庭が万が一の場合に、とても

心強い味方になってくれる中核施設。居住地域の「かかりつけ医」はもちろんですが、いざというときのために知っておいてほしい病院です。

小児医療

群馬県立小児医療センター

小児の専門病院として高度な専門医療体制、小児集中治療室を備え、難病・重症患者を受け入れている完全紹介予約制の病院。また、併設している総合周産期母子医療センターは群馬県の周産期医療の中核的役割を担っています。

〒370-8585 渋川市北碓町下箱田779 ☎0279-52-3551



先進医療

群馬大学医学部附属病院

救命救急センターや地域周産期母子医療センターの機能を有し、妊産婦の病気にも多く対応するほか、小児3次医療も提供する総合病院。がんの先進医療を行う重粒子線医学センターも備えていて、多彩な治療が受けられます。

〒371-8521 前橋市昭和町3-39-15 ☎027-220-7111



救急医療

前橋赤十字病院

ドクターカーとドクターヘリを有し、高度救命救急センターとして24時間365日稼働。基幹災害拠点病院として大規模災害にも対応。切らずにがんを治療する先端医療機器サイバーナイフも県内で初めて導入しています。

〒371-8521 前橋市朝倉町389-1 ☎027-265-3333



インターネットで県内の医療機関を検索！



群馬県では救急医療や災害時の救護活動を情報面で支えるシステムとして「統合型医療情報システム」を運用しています。これは、救急隊が迅速に受け入れ病院を探すのに役立つデータを日々、蓄積・更新しているだけでなく、県民にも役立つ情報を提供しています。

今受診できる医療機関や、疾患・治療内容に即した医療機関の検索など、多彩な医療情報を入手できますので、ぜひ活用してくださいね。

ぐんま移住者 子育てインタビュー

のんびり暮らし

片品村在住 澤さんファミリー編

(2015年1月に東京都から移住)

屋外で同年代の子ども同士が 遊ぶ機会を増やしたい

尾瀬のふもとで、武尊山、白根山に囲まれた片品村に暮らす澤さん一家。ご主人の生道さん、奥様の祐子さん、長男の宏太郎くん、二男の拓実くんの4人家族です。ご夫婦が結婚したのは2012年。同年ご主人は、それまで勤めていたリゾート会社を退職し、家業である片品村のかたしな高原スキー場へ転職することに。一方、奥様は当時、都内で老舗鋳物メーカーに勤め、新店舗の立ち上げや海外での営業・広報など、精力的に国内外を飛び回っていたそうです。「都内の新居、本社のある富山県、海外出張、そして主人のいる片品村を転々とする生活を送っていました」と奥様。

宏太郎くんの出産を機に、奥様は完全に片品村に移住し、会社も退職。「仕事を辞める喪失感はありませんが、子どもの手が離れたら、またやりがいのある職業に復帰しよう。それまではこの土地で子どもとしっかり向き合い、全力で子育てしよう」と決めた奥様。導かれるように、地域の活動に力を注ぐようになりました。

ママ友2人と育児サークル「ムラノコ」を立ち上げ、ク

0 移住の目的

- 夫の会社に近かった
- 片品村で子育てしようと決めた

ラウドファンディングで集めたお金をもとに、外遊び・季節遊びを企画したり、2017年には村のパパやママと「外遊びの会」を結成。木製の手作り遊具や、古道具、木の実、ロープなどをストックして、子どもが外で遊ぶ機会を増やすことに力を入れています。「片品村には他県からの移住者がとても多い。会の活動を通じて、いろいろな価値観の方と知り合えて、村での生活が一層豊かになりました」と話します。

都市型生活からの転換を 柔軟に楽しむ

また、カヌーやSUP、スキーが身近になり、デッキで食事をすることも増えました。「この地に来るまでは完全に都市型の生活でした。趣味はショッピングやカフェ、美術館巡り。今のように炎天下で子どもたちと笑っている自分があるなんて、昔は想像もしませんでした」と奥様はほほ笑みます。「村には本屋の1軒もありませんが、インターネットやSNSがあるので閉塞感さはさほど感じません。欲しいものがあればネットで買えばいいし、宅配便も届きます。よい時代の田舎暮らしだなあと幸せを感じています」と満足そうです。



▲デッキで遊ぶ
拓実くん



▲木の実を使って
おままごと遊び

ハンモックはご主人が組み立てたもの

澤さんに聞く！
移住に関する

10
Question

- Q1** 片品村に来て最初に感じたことは？
A 空気がきれい。水が湧き水でおいしい。
- Q2** 今はどんな家に住んでいますか？
A 庭付きの一戸建てです。
- Q3** 家で気に入っているところは？
A 大きなデッキとDIYの本棚。

- Q4** 片品村で暮らすなかで好きになった食べ物は？
A 採れたてのトウモロコシ。生で食べると特に美味。
- Q5** 休日の過ごし方は？
A スキー場や水辺で過ごします。ドライブも！

- Q6** 移住してから増えた趣味は？
A 庭いじりや家のDIYです。
- Q7** 片品村のお気に入りのスポットは？
A 戸倉の川、透明感抜群の菅沼です。
- Q8** 地域の人はどんな人が多い？
A 人情味のある人が多いです。

- Q9** 移住してから始めたことは？
A 年2回の旅行です。気になる場所や知人、先輩、旧友のもとへ！
- Q10** これからの展望は？
A 子どもの成長と共に流動的に考えます。

ぐんま移住者 子育てインタビュー

街暮らし & 週末のんびり暮らし

高崎市在住

倉田さんファミリー編

(2002年9月に新潟県から移住)

遊び場が多く、周囲の人たちも親切 子育てしやすい環境がお気に入り

倉田家はご主人の実さん、奥様の宏美さん、長女の陽莉ちゃん、二女の虹子ちゃんの4人家族。高崎市にある庭付き一戸建てのマイホームで暮らしています。

奥様の出身地は新潟県新潟市。群馬県で働くご主人と出会ったのは、20歳のとき、転勤で高崎勤務になったのがきっかけでした。「高崎市には1年間しかいなかったのですが、主人と知り合ったこと以外、あまり良い印象はありませんでした。空気が乾燥しているせいか、顔がバリバリになるし、それまで住んでいた東京都や新潟県より田舎だし、不満がいっぱいでした」。

その後、新潟県に戻った奥様は、4年間の遠距離恋愛を経て、ご主人と結婚。でも、一つ気がかりだったのは、群馬県に住むこと。「夫に転職してもらい、新潟県に来てもらおうかとも考えました」と話します。

ところが、高崎市に新居を構えて生活をスタートし、子どもを産み育てていくうちに、「このまちをどんどん好きになっていったのです」。高崎市はとにかく子育てがしやすいまちだと奥様は言います。中学生になるま

0 移住の目的

- 群馬県で暮らす夫の元に嫁いだ
- 起業しやすい環境だった

で医療費は無料。子どもの遊び場も豊富で、子育て支援センターをはじめ、倉田家から徒歩圏内に5つも広い公園があるそうです。

また、「とにかく周りの人が世話好きで優しい。ママ友も気のいい人が多くて、困っていると必ず助けてくれます」と奥様はほほ笑みます。

移住したからかなった夢 憧れの洋服店を2店舗オープン

奥様には昔から夢がありました。それは大好きな洋服の店を開くこと。「高崎市でならかなえられるかもしれない」と思い、陽莉ちゃんを出産後、自身の貯金と高崎市からの補助金、合わせて車1台分の金額で子ども服の店「pippi」を開店しました。「高崎市は家賃が安いし、子ども服の専門店も当時は少なかった。行政の創業支援の補助金制度も整っている。この3つが大きかったですね」と振り返ります。

店は順調に売り上げを伸ばし、5年後には「pippi」の隣りに、婦人服の店「Oval」を立ち上げることができました。「忙しいけれど、主人とママ友に助けられながら充実した毎日です」と目を輝かせます。

倉田さんに聞く！
移住に関する

10 Question

Q1 群馬県で暮らしてみたいところは？

A 晴れの日が多いところ。

Q2 高崎市に住居を決めた理由は？

A 交通アクセスが良いことです。

Q3 新幹線を使う機会は多い？

A 展示会時期は週1で都内へ行きます。

Q4 群馬県で暮らすなかで好きになった食べ物は？

A うどんやおっきりこみです。

Q5 群馬県で起業して良かったことは？

A 知り合いが増えて、ぐんま暮らしがより楽しくなりました。

Q6 移住して大変だったことは？

A 交通網が発達していないこと。でも車社会なので慣れたら楽です。

Q7 今はどんな家に住んでいる？

A 高崎駅から車で10分のマイホーム。群馬県は土地が安いので、20代で家を持てました。

Q8 移住してから始めた趣味は？

A キャンプなどアウトドアです。

Q9 群馬県で好きな場所は？

A 榛名山や川場村など自然豊かな場所。

Q10 移住を検討している人にひと言

A 物価も安いし住みやすさ抜群です。

▶家族でアウトドア
に夢中

▲宏美さんが経営する子ども服の店

近くの公園で休日過ごす倉田さん家族

自然の中で アクティブ暮らし

ぐんま移住者 子育てインタビュー

みなかみ町在住 夏目さんファミリー編

(2015年9月に埼玉県から移住)

東日本大震災をきっかけに 都会での暮らしに限界を感じる

みなかみ町の中でも最奥の藤原地区に移住した夏目さんファミリー。ご主人の啓一郎さんはフリーランスの映像カメラマン、奥様の友紀さんは町内の介護施設でパート勤務、長男の睦穂くんは小学2年生です。

移住のきっかけは東日本大震災でした。当時、暮らしていたのは大宮駅から徒歩15分の賃貸アパート。「震災の日には電車が止まり、自宅に帰り着くまでに10時間以上。その後も計画停電やスーパーでの買いあさり……。一極集中で人が住む都会のリスクを思い知りました」というご主人。「田舎に移住しよう。夫婦ともにウインタースポーツが趣味なので、できれば雪のある場所で暮らそう」と検討を始めました。

ご主人の仕事の中心は都内のため、「新幹線が使える」「高速道路のICが近い」という2点が移住の条件でした。そんななか、目にしたのが、NPO法人奥利根水源地域ネットワークのウェブサイト。みなかみ町藤原地区の自然やアウトドアスポーツが生きいきと紹介されていました。新幹線の上毛高原駅や水上ICにもそう

0 移住の目的

- 大自然の中で子育てしたかった
- 災害リスクが少ない場所で暮らしたい

遠くない。「早速、子どもと訪れ、のどかな雰囲気やがやの茂る林に出会って、「ここに住みたい」と意見が一致したんです」。

四季折々、遊びきれないほど たくさんのレジャーがある

築82年の家を借り、1か月かけてリフォームして親子3人の暮らしが始まりました。ご主人いわく、「自分たちでろ過すれば飲料水になる」ほど、きれいな沢が家のそばに流れ、家庭菜園では年間20種以上の野菜を育てています。また、藤原地区では祭りやイベントが多く、住人同士の関わりも密接。万が一災害が起きても「ここでなら暮らしていける」と確信しているそうです。

夏は川遊びやキャンプ、BBQ、冬はスキーやスノボなど四季折々を楽しむ夏目さん親子。「以前はよく遠方へ遊びに出掛けていましたが、移住してからはほとんど町を出ていません。それほどこの町には遊びが多いのです」。ご主人の仕事にも幅が出ました。本業の動画撮影だけでなく、夏は登山ガイド、冬はスキー・スノボインストラクターなど。生活の中に遊びがある今の暮らしを心底気に入っているようです。

夏目さんに聞く！
移住に関する

10 Question

Q1 移住に費やしたお金は？

A 約100万円です。

Q2 他の移住候補地は？

A 長野県軽井沢町です。

Q3 何回ぐらい群馬県へ下見に来た？

A 3回です。

Q4 移住に備えて用意したものは？

A 町内の介護施設に勤務するため、妻が介護職員初任者研修の資格を取得。

Q5 ご主人の仕事に変化は？

A 東京での仕事は減りましたが、地元での仕事が増えました。

Q6 都内の仕事はどのくらいの頻度？

A 月によってまちまちで5〜20日です。

Q7 家の情報はどこで得た？

A NPO法人 奥利根水源地域ネットワークのメンバーのご紹介です。

Q8 移住して一番の楽しみは？

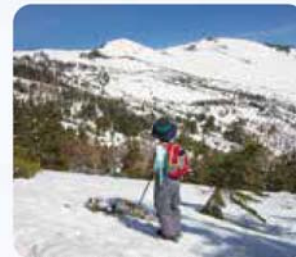
A 11月末から5月末まで半年間雪遊びができることです。

Q9 移住して大変だったことは？

A 屋根の雪下ろしと道路の除雪です。

Q10 これからの展望は？

A 子どもが中学卒業まではこの環境で暮らしたいですね。



▲冬はスノボやスキーに夢中



▲夏は清流遊びが楽しい！



庭には家庭菜園と見事なコスモスの群生

ぐんま移住者 子育てインタビュー

技術力を 活かした暮らし

太田市在住 仁科さんファミリー編

(2015年2月に栃木県から移住)

行政の子育て支援の 充実ぶりに感動

仁科さんファミリーはご主人の宏健さん、奥様の沙津紀さん、長男の慧大くん、双子の太貴くん、陽貴くんの5人家族。そして、犬のさすけと猫のたびも一緒に。ご夫妻は共に、群馬県太田市の株式会社SUBARUに勤務し、自動車開発の仕事をしています。神奈川県横浜市で生まれ育った奥様にとって、群馬県は「どんな特徴があるのかすら分からない、未知の土地」だったそうです。「でも、やりたい仕事がそこにあったので、迷いもなく移住してきました」と奥様。そして東京都杉並区生まれのご主人と結婚。当初は栃木県足利市にアパートを借りて暮らしていましたが、2015年、会社から車で約10分の場所にマイホームを建て、太田市民となりました。

群馬県に移住して驚いたのは、行政の子育て支援がしっかりしていること。「保育園の費用が以前の半額になりました。3人目は保育園費用も給食代もかかりません。中学生まで医療費無料もありがたいですね」。また、子どもの本が充実している太田市美術館・図書館やぐんまこどもの国など、安心して遊べる場所も多く、

0 移住の目的

- 夫婦が勤める会社に近かった
- マイホームを群馬県に建てた

「なんて子育てしやすい街なんだろうと、夫婦で話しているんですよ」と奥様。

キャンプ、スキー、家庭菜園 家族で楽しむ趣味がいっぱい

今、家族で取り組んでいるのは家庭菜園。1年間で10種類以上の野菜を育てているほか、「桃やブドウ、イチジクなどフルーツの木も植えて、もぎたてのおいしさを味わっています。土を耕し、苗を植え、育てるという経験は子どもたちにとって良い学びになると思っています」と奥様は話します。

休日には家族でアウトドアを楽しんでいます。春から秋は日帰りキャンプ、冬はスキー。車で1時間ほど走れば、自然に出会えるのもこの土地の魅力だそう。大学時代、スキーサークルに所属していたご主人の指導で、3人のお子さんも幼いころからスキー靴を履いていたため、「小学生の長男は私よりもうまいくらい」と奥様は笑います。「今年は大きなテントを買ったので、初の1泊キャンプにチャレンジしたいですね」と話すご夫妻。自然の中で子どもたちと過ごす時間は何よりのリフレッシュタイムだそうです。



▲片品村の菅沼でカヌーに挑戦



▲奥様は車の先進技術開発の企画と提案を担当



家族のアイドル、愛犬のさすけと共に

仁科さんに聞く！
移住に関する

10 Question

Q1 移住前の群馬県のイメージは？

A 自然豊かな場所。

Q2 実際に暮らしてみた感想は？

A 住みやすい。ごみごみしていないのも快適で、子どもにも最適な環境。

Q3 今はどんな家に住んでいる？

A 庭付きの一戸建てです。

Q4 敷地の広さは？

A 約80坪です。

Q5 場所はどのあたり？

A 蕪川駅から徒歩10分の場所です。

Q6 その場所を選んだ理由は？

A 会社と子どもの小学校や保育園に近かったことが大きいですね。

Q7 近所づきあいは？

A 古くから暮らしている方が多く、皆さん優しく親切です。

Q8 お気に入りの観光スポットは？

A かたしな高原スキー場です。

Q9 都会が恋しくならない？

A 大学まで都会で暮らしていたのでもう十分です(笑)

Q10 移住検討者へひと言！

A のびのび、ゆったりと生活できます。

ぐんま移住者 子育てインタビュー

都内で お仕事暮らし

高崎市在住 富所さんファミリー編

(2009年1月に新潟県から移住)

夫は新潟県、妻は東京都で勤務 その中間地点が高崎市でした

ご主人の真太郎さんは、ご両親が経営する新潟県南魚沼市の自動車会社に勤務。奥様の美樹さんは東京都港区の食品会社に勤めています。結婚してしばらくは、東京都と新潟県にそれぞれ住み、土日だけ一緒に暮らす週末婚。2008年、長女の碧ちゃんを妊娠、出産した奥様は、1年間の育児休暇期間を新潟県で過ごしました。休暇後は再び、東京都に戻り、別居生活を送る予定でしたが、「待機児童が多くて入れる保育園がなくて」と奥様。

新潟県から通勤することも考えましたが、あまりに時間がかかり過ぎます。「夫や両親からは、今の仕事を続けるのは無理。そこまでして都内で働く必要はないのではと言われてました」。しかし、今の仕事が面白くなってきた奥様は、なんとか続けられる方法はないかと悩みました。

ある日、新幹線の時刻表を眺めていたら「高崎だったら、通勤できるのでは」とひらめきました。思い立ったら即実行。当時10カ月だった碧ちゃんを連れて、高崎を訪れたそうです。「駅周辺の石畳はまるでイタリア

0 移住の目的

- 保育園が気に入った
- 夫婦の職場の中間地点だった

のフィレンツェのよう。空も真っ青で爽快でした」。

保育園難民から脱出 ここでならのびのび子育てができる

高崎駅近くの保育園の見学もしました。そこで目にしたのは、園庭でのびのび遊ぶ子どもたちの姿。「ここにはあなたと同じように、都内まで通っているママがたくさんいますよ。園長先生の温かい言葉に心が救われたといいます。2カ月後、同園に空きが出たため、すぐに、引っ越し先の賃貸マンションを決めて、母と子どもの高崎暮らしが始まりました。

「高崎は利便性がよい街。駅の周りになんでもそろっているし、少し足を伸ばせば、豊かな自然も楽しめます」と奥様は今の暮らしが大のお気に入り。新幹線通勤も快適で、「車内でパソコンを広げ、企画を練ったり、事務仕事を片付けたり。一人になれる貴重な時間です」。普段は離れているけれど、週末にはご主人が車で訪れ、群馬県の観光地巡りを楽しむことも多いそう。「娘も群馬県が大好き。時々、一緒に都内に行くのですが、「人が多すぎて嫌、早く群馬県に帰りたい」と言うのです。思い切って移住を決めて良かった」と笑顔です。



▲通勤は新幹線で楽々

▲高崎まつりには法被姿で参加

高崎駅近くのマンションに住む奥様と碧ちゃん

富所さんに聞く！
移住に関する
10
Question

- Q1 移住の検討期間は？
A 1カ月ぐらいです。
- Q2 移住に費やしたお金は？
A 約50万円です。
- Q3 移住を相談した相手は？
A 夫と、両方の両親に相談しました。
- Q4 反対意見はありましたか？
A 最初はみんなが反対しましたが、説得して分かってもらえました。
- Q5 何回、群馬県へ下見に来ましたか？
A 1回です。
- Q6 転職は考えませんでしたか？
A インターネットの転職サイトに登録しましたが、やはり今までの会社に勤め続けたいと思いました。
- Q7 今はどんな家に住んでいますか？
A 3LDKの賃貸マンションです。
- Q8 群馬県の一番良いところは？
A 外から来た人を受け入れる風土。
- Q9 お気に入りの観光地は？
A 渋川市の「伊香保グリーン牧場」です。
- Q10 移住検討者へひとこと！
A 迷っていたら、一度足を運んでみてください。

ぐんまの移住者サポート団体

移住しても、すぐに知り合いはできません。そんな時に心強いのが、移住者を支え地域に溶け込めるようにサポートする団体です。

子育て期の新しい働き方を推進

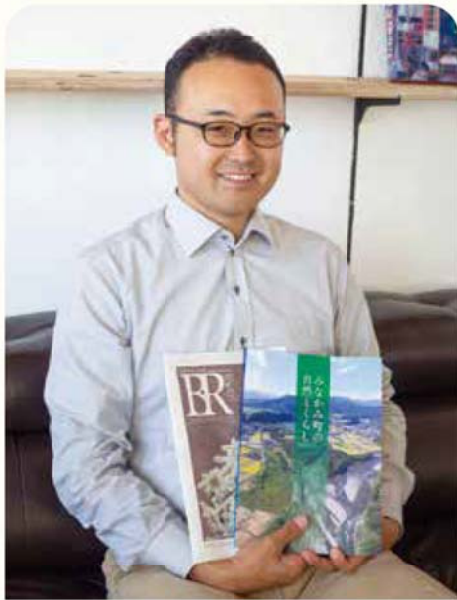
子連れで遊ぶ最高の休日をパパとママと地域のみんなで作りたい。そんな思いから、高崎市内の神社を舞台に「あそびば」という活動をサポートしている「一般社団法人コトハバ」。地域の人々はもちろん、移住者も多く参加する人気イベントです。代表の都丸さんは、「幼い頃に自己肯定感やコミュニケーション能力、想像力を育む力は、親子の触れ合いや、自然のなかで思い切り遊ぶことです」と話します。

自然豊かな群馬県で、親子で濃密に関わりながら子育てしてほしい。そんな思いから、近年では移住促進活動にもまい進。高崎市、みなかみ町、下仁田町で拠点を運営し、子育てが群馬県で自然体験を行える催しを実施しています。例えば、みなかみ町の拠点では、「稲刈りと餅つき体験で農泊」「パウダースノーともぐら駅」など1泊2日の気軽なプログラムを年5～6回企画し、都会の親子の参加を呼び掛けています。定期的に群馬県を訪れるうちに知り合いが増え、第二の故郷になる人も多いそうです。

また、移住に伴う仕事の問題解決にも注力。「都内の仕事を辞め、群馬県に転職・移住するのはハードルが高いと感じる方が多い。そこで、テレワークを軸に、都内の仕事を継続しながら、地域に副業をつくり、二地域勤務、二地域居住のお手伝いもしています」。

子育て期の応援と、働き方改革推進の地域拠点を

一般社団法人コトハバ



代表理事 都丸一昭さん

運営するコトハバ。「次の日本を担う人材を輩出することが目標です。これからもパパ、ママを全力で応援します」と都丸さんは笑います。



①みなかみ町の拠点「テレワークセンターMINAKAMI」には8つのサテライトオフィスを設置。パウダースノーを楽しめるプログラムも！ ②みなかみ町の農家で餅つき体験も実施しています ③夏は清流遊びのプログラムを実施 ④パウダースノーを楽しめるプログラムも！

ぐんまの子育てサポート団体

移住先での「孤育て」を回避するには同じ目的を持ったグループへ参加するのもひとつの手段。活動的な女性が多い群馬県にはこうしたグループがたくさんあります！

小学校までの子どもと親に多彩な体験を！

NPO法人カリゼ

子どもたちの想像力&創造力を育むイベント「ゆめはく学校」を群馬県内で年3～4回開催している「NPO法人カリゼ」。このイベントでは、幼児と児童を対象に、美容師やパティシエ、お花屋さんなどの職業体験のほか、様々なワークショップを展開。2017年11月の開催日には、約700人の親子が参加しました。「楽しみながら、仲間づくりができる場にしたい」と代表理事の品田さん。また、小学生が1時間半かけてじっくり一つのことに取り組む「ゆめはく塾」も不定期開催しています。

同NPO法人のコアメンバーの半数は、他県から移住してきたママ。「私たちと一緒に活動してくれるメンバーと、イベントのお手伝いをしてくれるボランティア

アスタフを常時募集中です」と品田さん。彼女の出身は愛知県。2004年、ご主人の転勤で、群馬県太田市に移住したそうです。「群馬県とはとにかく気さくな人が多い。和気あいあいと活動しています」と笑顔で話します。



代表理事 品田洋子さん



①オレンジのTシャツ姿の「NPO法人カリゼ」のメンバーやボランティアスタッフたち ②お花屋さん体験でブーケづくりに挑戦 ③おにぎりと豚汁をつくった食育講座

群馬県には子育てサークルがたくさんあります！！

親同士の子育てに関する情報交換はもちろん、子どもにとっては同年代の友達づくりの場にもなる子育てサークル。一人で育児を思い悩むより、同じ子育て仲間と悩みや楽しみを共有できる場

として群馬県でも人気です。県内に数ある子育てサークルは、市町村の広報などで紹介されることがありますが、群馬県の運営する「子育てネット」なら、いつでも手軽に検索することが可能です。



ぐんまで子育て



もっと群馬県の子育てに関することを知りたい！
そんなあなたのために疑問&質問を集めてみました。

Q 気軽に子どもを遊びに連れていけるような場所が身近にありますか？

A 身近な「遊び」の施設として、群馬県には大小さまざまな公園がありますが、児童館もおおすすめです。児童館は、子どもに健全な遊びを提供することで心身の健康を進進し豊かな情操を育むとともに、子育てについて不安を抱える親への支援活動にも取り組んでいます。

群馬県内には、太田市にある「ぐんまこども国児童会館」をはじめ、約70の児童館・児童センターがありますので、お気軽にご利用ください。



Q 地縁のない群馬県で子育てをする場合、近くに頼れる人がいないので不安です。

A 不安な気持ちはとても理解できます。「孤育て」にならないよう、群馬県の市町村ではさまざまな悩みや相談の受け皿となり、他の親子との交流なども促進するために、市町村保健センターや子育て世代包括支援センター、地域子育て支援センターなどでサポートを行っています。また群馬県には、読み聞かせやリトミックなどを通して、親子同士の交流も行える子育てサークル、母親や地域住民で組織してボランティア活動を行う母親クラブなど、多数の団体があります。気軽に参加してみてください。

Q 小学校の放課後児童クラブはすぐに入れますか？

A 保護者が働いているなど日中家にいない場合に、小学生の子どもを預かる放課後児童クラブ(学童保育)。授業が終了した後、学校の余裕教室や敷地内の専用施設、児童館などを利用して、子どもに適切な遊びや生活の場を提供し、健全な育成を図る制度です。運営は市町村や民間団体などさまざまですが、近年では共働きの増加から、放課後児童クラブの待機児童が問題視されています。

厚生労働省が行った「平成29年(2017年)放課後児童健全育成事業(放課後児童クラブ)の実施状況」という調査の結果によると、平成29年度、群馬県内で放課後児童クラブを利用できなかった待機児童数は前年度から23人減って59人。ちなみに、東京都は3,600人という結果でした。施設の整備も進んでおり、群馬県は現在、放課後児童クラブが利用しやすい状況だと言えるでしょう。

Q 育児と仕事を両立したいのですが、群馬県内の企業のワーク・ライフ・バランスはどうでしょうか？

A 群馬県では育児・介護と仕事の両立や、職場における女性の活躍推進、従業員のワーク・ライフ・バランスの推進などに取り組む県内の事業所を、「群馬県いきいきGカンパニー」として認証しています。移住して、子育てをしながら就業を考える際には、ぜひ参考にしてください。認証を受けた事業所は、群馬県のウェブサイトから確認できます。



第4章

家族がHAPPY♪ 群馬県の余暇

群馬県には家族が余暇を満喫できるスポットがたくさん！
山へ、川へ、公園や遊園地へ。週末は家族で思い出を作りましょう。

- ぐんまの山遊び…………… p47
- ぐんまの温泉…………… p53
- ぐんまの水遊び…………… p49
- ぐんまの体験…………… p54
- ぐんまの公園・遊園地…………… p51

ぐんまの山遊び



豊かな山々に囲まれた群馬県。日常からかけ離れた雄大な自然のなかで、トレッキングからキャンプ、スキー・スノボまで、山の楽しみ方は千差万別！



高山村みどりの村キャンプ場

キャンプ

公営から私営、テントサイトからオートキャンプサイト、バンガローまで、群馬県にはキャンプ場がたくさんあります。ロケーションも多彩で、川や湖の近く



丸沼高原

や、山深く標高が高いため満点の星空が観賞できる場所も。移住すれば週末、気軽に出かけられるキャンプ。お気に入りの場所を探してくださいね。



トレッキング

尾瀬国立公園

無理せず体を動かしながら自然を楽しむのに最適なトレッキングは、老若男女を問わない人気のレジャー。群馬県には本格的なトレッキングコースはもちろん、子どもでも楽しめる場所も多彩。特に尾瀬は県内の小中学校が自然教育で訪れる場所なので、無理せず貴重な自然環境を体験することができます。



谷川岳-ノ倉沢

ぐんま県境稜線トレイル

群馬県北部の県境に位置するぐんま県境稜線トレイルは、国内でも最長クラスとなる約100kmの稜線ロングトレイル。家族の技術や体力に合わせてコースを選んでみてはいかがでしょうか。



雪遊び



群馬県の冬の遊びといえばスノーアクティビティ。県内には多数のスキー場があるので、スキーやスノーボードはもちろん、子どもでも気軽に楽しめるスノー

シューのツアーも豊富に用意されています。もちろん、スキー場まで行かなくても、北部地域では公園や河川敷で雪遊びを楽しむことができます。

子どもに優しいスキー場

県内に数あるスキー場のなかでも、かたしな高原は子どもに優しい設備が充実。特にミッフィーアドベンチャーパークは日曜日にブレイリーダーが常駐し、さまざまな雪遊びを提案してくれます。



昆虫観察



豊かな自然の群馬県では、子どもが大好きな昆虫も種類豊富。春になればアサギマダラやヒメギフチョウが飛び交い、初夏からはクワガタムシやカブトムシが、晩夏から秋にかけても種類豊富なトンボなどが見られます。



マウンテンバイク

その名の通り、山中の未舗装路でも走れるマウンテンバイク。都会では舗装された道しか走る機会がありませんが、県内ではマウンテンバイクで山を走り抜けるツアーを開催している会社もたくさんあります。ぜひ親子で参加してみてください！

群馬県のアクティビティをチェック

群馬県の観光情報など、多彩な魅力を発信しているサイト「ググっとぐんま」では、県内のアクティビティ情報も満載。ぜひ確認してくださいね！



ぐんまの水遊び

河川はもちろん湖も数多い群馬県では、川泳ぎの他にも釣りやボートなど、実に多彩なウォーターアクティビティを楽しむことができます。



河川では気軽にフナやコイ、ニジマス、ハヤ釣りが楽しめるのはもちろん、上流に行けばイワナやアユ、ヤマメなどの溪流釣りにも挑戦できます。湖や沼ではバス釣り、また冬の湖では氷の上からワカサギ釣りも楽しめちゃう！

バス釣り有名な榛名湖では、冬になると氷上からワカサギ釣りを楽しめます

ラフティング

大きなゴム製のボートで川を下るアクティビティ・ラフティングは、県内でも特に、みなかみの利根川上流で盛んです。多くのツアー会社があるので、初心者や子どもがいても安心して楽しむことができます。



5月頃は雪解け水の影響から流れが速くなり、国内でも屈指のスリルが味わえるスポットとして人気です



カヌー

流れのない湖をゆったり楽しむレイクカヌーは、北部でツアーを行っている会社が多数あります。一方、南部の河川でも、小回りの利くカヤックを楽しむ団体などが活動をしています。

水面から見る景色はひと味違う。カヌーは子どもでも挑戦しやすいのが嬉しいですね



キャニオニング

ウェットスーツを身にまとい、河川を自力で登りながら自然を楽しむキャニオニング。群馬県内でも北部を中心にツアーが開催されています。時には滝壺に飛び込んだり、自然のウォーターライダーを滑り降りるなど、子どもから大人まで冒険気分を味わえます。

川遊び

群馬県では子どもが遊べるように整備された河川も多数あります。子どもたちは川で泳いだり、水生生物を探すなど思いおもいに遊べるので、夏には多くの家族連れが川遊びを楽しんでいます。



ぐんまの公園・遊園地

群馬県には広くて個性的な遊具をそろえた公園はもちろん、家族で一日のんびり楽しめる遊園地や牧場も数多くあります。

伊勢崎市華蔵寺公園遊園地

遊園地のシンボルである大観覧車「ひまわり」を筆頭に、ジェットコースターや急流すべりなど多彩な乗り物が楽しめます。入園料無料なので気軽に遊びに出かけられます。

〒伊勢崎市華蔵寺町1番地
☎0270-25-4478



前橋市中央児童遊園地

昔懐かしいアトラクションがたくさんある入場無料の小さな遊園地。1回10円で乗れる電動木馬は1954年製の国の登録有形文化財です。

〒前橋市大手町3-16-3 ☎027-231-6774

渋川スカイランドパーク

名湯・伊香保温泉から程近い渋川スカイランドパークは、渋川市内を見下ろす絶好のロケーション。アトラクションも豊富なため、県外からの来園者も多い遊園地です。

〒渋川市金井2843-3
☎0279-20-1589



高崎観音山ファミリーパーク

広大な広場にふわふわドームなどの人気遊具、さらにはバーベキュー広場やクラフト工房を併設した公園。一輪車などの貸出遊具もあり、一年を通して人々にぎわっています。

〒高崎市寺尾町1064-30 ☎027-328-8389

伊香保グリーン牧場

豊かな自然のなかで多彩な動物と触れ合うことができる人気スポット。羊の群れが大移動するシープドッグショーは本場ニュージーランドさながらの大迫力です。

〒渋川市金井2844-1
☎0120-81-5335



嶺公園



赤城山南面の広大な敷地内に、アスレチックや水遊び広場、ロングローラー滑り台などを用意する公園。自然が豊かで季節の花々や野鳥観察にも最適です。

〒前橋市嶺町1300
☎027-269-3838

ぐんまこどもの国(金山総合公園)

広大な敷地内に多彩な遊具、水で遊べるじゃぶじゃぶ池、ものづくり体験ができるふれあい工房、専用器具でコースを疾走するサマーボブスレーなどを用意し、多種多様な遊びや学びが体験できる人気スポットです。

〒太田市長手町480 ☎0276-22-1448



高山ふれあいパーク(道の駅 中山盆地)

長さ18mのすべり台を始め、小さな幼児も遊べる遊具や大人向けの健康遊具もあり、家族みんなで楽しめます。隣接している日帰り温泉施設やコテージを利用してゆっくり過ごすのもおすすめです。

〒吾妻郡高山村大字中山2357-1
☎0279-63-2000



昭和村ふれあいグリーンパーク

高さ9mの展望台をはじめ、水遊びのできる噴水、長さが50mのローラーライダー、長さが30mのジェットスライダー、ふわふわドームなど、楽しい遊具がたくさん!

〒利根郡昭和村大字糸井5895
☎0278-24-5120



小平の里 親水公園

鍾乳洞、植物園、キャンプ場などが併設される自然体験エリア。なかでも親水公園は小平川の清流で思う存分遊ぶことができます。

〒みどり市大間々町小平甲445
☎0277-73-2006



グリーンふらわー牧場・大胡

高さ22mのオランダ型風車がシンボルの道の駅。アスレチック遊具、ローラー滑り台が楽しめるほか、牛やポニー、羊などの動物に餌をあげることもできます。またパンガローやバーベキュー場も併設。

〒前橋市滝窪町1369-1
☎027-283-5792(まきば) / 027-284-0011(さんぼ道)

観音山公園ケルナー広場



子どもたちが自由に創造し、工夫して遊べる、ドイツ製の遊具を配置したケルナー広場が特徴。他にも芝生広場や夏はプールも楽しめます。

〒高崎市石原2740-2 ☎027-386-9005

他にもいろいろ 群馬県の子育て支援施設!

群馬県では他にも児童館など子育てを支援する施設がたくさんあります。詳しくは子育てネットで検索してくださいね!



ぐんまの温泉



県内に約100の温泉地がある群馬県。古湯や秘湯はもちろん、気軽に行ける日帰り温泉もたくさんあります。

群馬県の四大温泉



草津温泉

90度以上の源泉を水で薄めず、湯畑を経由して外気に触れさせることで泉質を保っている草津温泉は、昔から湯治場として有名。江戸時代には温泉番付で最高位の常連であり、現在でも名湯として広く人気を博しています。

伊香保温泉

万葉集にも名前が残る歴史ある温泉地。趣ある石段が温泉街の風情を醸し、明治以降は竹久夢二、徳富蘆花、夏目漱石といった文人墨客が多く訪れたことでも有名です。近くには榛名湖があり、多くの観光客が訪れます。



四万温泉

1954年に国民保養温泉地第一号に指定された温泉で、「四万もの病に効くから」という説があるほど、効能豊かな泉質を持つ温泉です。群馬県指定天然記念物の蝮穴、四万湖、奥四万湖など自然の見どころもたくさんあります。



水上温泉

利根川上流の渓谷沿いに宿が点在する水上温泉は、戦後に都心からの交通利便性が人気となって発展し、関東の奥座敷とも呼ばれる温泉郷です。冬はスキーやスノーボード、夏はアウトドアを楽しむ観光客でにぎわうエリアです。



群馬県には気軽に立ち寄れる日帰り温泉がたくさん!

数多くの温泉地を有する群馬県ですが、県内には、小さな子どもがいても気軽に立ち寄れる日帰り温泉もたくさんあります。特に市町村が運営している施設の場合、リーズナブルな入館料の場所も多く、さらには市民優待券などを配布する場合も。食事のできる施設も多いので、休日のお出かけ先としても、広く県民に利用されています。県内の温泉施設に関しては、「ググっとぐんま」で検索することができます。



ぐんまの体験



子育てで近年注目されているのが体験教育。果物狩りやものづくり、農業体験まで、群馬県では子どもの感性に響く多彩な体験機会があります。

果物狩り



県内では、果物狩りが盛んなスポットが多数あります。沼田市やみなかみ町ではリンゴやブルーベリー、ブドウ狩りなどを楽しむことができ、渋川市ではイチゴ狩りが有名。他にも高崎市ではナシ狩りが楽しめるなど、一年を通して多彩な果物を楽しめます。

ものづくり

道の駅や観光地などでも数々のものづくり体験ができますが、みなかみ町のたくみの里では、木工、竹細工、和紙など、多彩なもののづくりが楽しめる体験工房が集積。子どもはもちろん、大人でも夢中になれるスポットとして人気を博しています。



農業体験



近年人気の高いグリーン・ツーリズムは農山漁村で自然、文化、人との交流を楽しむ滞在型の余暇活動。群馬県でも各市町村で多数のグリーン・ツーリズムがあり、土と触れ合いながら農作物を育て、収穫する体験などが活況です。群馬県が運営するウェブサイト「ぐんまグリーン・ツーリズム」でも多彩な情報を発信しているので、参考にしてくださいね。

コラム

移住の心強い味方をご紹介します！

都内においても相談OK!

ぐんま暮らし支援センター

東京・有楽町の東京交通会館8階に、「ぐんま暮らし支援センター」を設置しています。専任の移住相談員と就職相談員が常駐していますので、一人ひとりのライフスタイルに合わせた個別相談が可能。あなたの「ぐんま暮らし」の実現に向け、しっかりサポートいたします。

移住パンフレットやイベント情報も各種そろえていますので、お気軽にお立ち寄りください。(P62参照)



移住に関する不安や悩みなど、何でもお気軽にご相談ください

例えばこんな疑問にも...

- 群馬県のいいところは？
- 〇〇市ってどんなところ？
- 群馬の保育・教育環境は？
- 群馬で仕事を探したい！



丁寧にお答えします！

群馬県全体・市町村ごとの特徴や、移住・就職に関する具体的な情報まで、ワンストップでお答えします！



「ぐんま暮らし」を親身にサポート!

移住コーディネーター

移住コーディネーターは、あなたと地域・地域住民をつなぐ移住サポーターです。移住するための相談はもちろん、移住後の生活に関する

不安にも親身に対応。群馬県では、7つの市町村で移住コーディネーターを設置していますので、ぜひご相談ください。



中之条町 村上さん

移住先での住まいや仕事はもちろん、暮らしそのものを二人三脚で考えるのが私の基本スタンス。相談者の方、1人ひとりの「最善」を見つけ、それを実現できるよう最大限のフォローをさせていただきます。



前橋市 鈴木さん

相談者の夢や希望をかなえるのが私たちの目的。だからこそ、相談者には常に本気で関わります。移住後のフォローが必要にならないよう、移住前に問題になりそうな芽を全て摘むよう心がけています。

移住コーディネーターを設置している市町村 (2018年末時点)

- 前橋市 ●下仁田町 ●中之条町
- 嬭恋村 ●高山村 ●東吾妻町 ●片品村

移住コーディネーターの他にも、あなたのぐんま暮らしを応援してくれる人・団体がたくさんいます。詳しくは、各市町村(P58~59参照)にお問い合わせください。

第5章

移住に役立つ知識・データ集

群馬県への移住を考えている皆さんに役立つデータ集です。市町村の移住相談窓口？就職の相談は？そんな疑問にお答えします。

- ぐんま移住へのステップ..... p57
- ぐんまの移住お役立ちサイト..... p61
- 35市町村移住相談窓口..... p58
- 東京都内の移住・就職窓口..... p62
- ぐんまの就職・就業相談窓口..... p60



ぐんま移住へのステップ



「群馬県って子育てにいいじゃない！」そう思っただけなら、次は具体的な動きです。イメージして、来てみて、群馬県をじっくりと体感してくださいね。

Step 1

家族でとことん話し合う

移住を検討するにあたって一番大切なのは、家族でしっかりと、とことん話し合うことです。子どものこと、夫婦のこと、親のことなどを多角的に検討し、移住するべきか否かを決めましょう。



Step 2

移住後のライフスタイルを決める

家族のライフスタイルに合わせて、群馬県でどのように暮らすのかをじっくりと考えてみてください。移住は短期間の話ではありません。一生を暮らしていくために、家族にとって何が一番大切かを考えることが大切です。



Step 3

情報収集して候補地を決める

家族のライフスタイルを決めたら、それに合った地域をピックアップして、情報を集めましょう。自治体の支援策は？子育て環境は？仕事は？住居は？決めなければならないことはたくさんあります。ひとつずつしっかり調べましょう。



Step 4

現地を視察する

具体的な地域を決めたら、実際に現地へ足を運び、視察をしましょう。スーパーや病院といった生活環境、気候などの自然環境、子どもがいる場合は幼稚園・保育所や学校なども見て回るといいでしょう。



Step 5

群馬県での生活をスタート

移住は完了するかもしれませんが、家族でのぐんま暮らしはスタートです。周りに知り合いがいなくても大丈夫。義理と人情に厚い群馬県民。少しずつ地域の活動に参加し、知り合いを増やし、素敵な生活を実現してくださいね！



35市町村移住相談窓口



群馬県内35市町村の移住の相談窓口をご紹介します。移住に関する情報収集の参考にしてくださいね。

★このマークがついている市町村には移住コーディネーターがいます。

★ 前橋市	前橋市未来の芽創造課 ☎027-898-6513 ✉mirai@city.maebashi.lg.jp		藤岡市	藤岡市企画課 ☎0274-40-2424 ✉kikaku@city.fujioka.gunma.jp	
高崎市	高崎市企画調整課 ☎027-321-1202 ✉kikaku@city.takasaki.lg.jp		富岡市	富岡市地域づくり課 ☎0274-62-1511 ✉chiikidukuri@city.tomioka.lg.jp	
桐生市	桐生市空き家対策室 ☎0277-46-1111 ✉akiyataisaku@city.kiryu.lg.jp		安中市	安中市地域創造課 ☎027-382-1111 ✉souzou@city.annaka.lg.jp	
伊勢崎市	伊勢崎市企画調整課 ☎0270-27-2707 ✉kikaku@city.isesaki.lg.jp		みどり市	みどり市企画課 ☎0277-76-0962 ✉kikaku@city.midori.gunma.jp	
太田市	太田市企画政策課 ☎0276-47-1892 ✉005200@mx.city.ota.gunma.jp		榛東村	榛東村産業振興課 ☎0279-54-2211 ✉sangyou@vill.shinto.gunma.jp	
沼田市	沼田市観光交流課 ☎0278-23-2111 ✉kouryupro@city.numata.lg.jp		吉岡町	吉岡町総務政策課政策室 ☎0279-54-3111 ✉seisaku@town.yoshioka.gunma.jp	
館林市	館林市企画課 ☎0276-72-4111 ✉kikaku@city.tatebayashi.gunma.jp		上野村	上野村振興課 ☎0274-59-2111 ✉kuwajima-s@vill.gunma-ueno.lg.jp	
渋川市	渋川市新政策課 ☎0279-22-2401 ✉hp-shinseisaku@city.shibukawa.gunma.jp		神流町	神流町総務課 ☎0274-57-2111 ✉kikaku@town.kanna.gunma.jp	

★ 下仁田町 下仁田町地域創生課
☎0274-64-8809
✉info@shimonitatown.com

南牧村 南牧村村づくり・雇用推進課
☎0274-87-2011
✉teiju@vill.nanmoku.gunma.jp

甘楽町 甘楽町企画課
☎0274-74-3131
✉kikaku@town.kanra.lg.jp

★ 中之条町 中之条町企画政策課
☎0279-75-8837
✉ijyu@town.nakanojo.gunma.jp

長野原町 長野原町企画政策課
☎0279-82-2244
✉kikaku2244@town.naganohara.gunma.jp

★ 嬬恋村 嬬恋村移住・集落支援室
☎0279-82-5191
✉info@tsumagoi-style.com

草津町 草津町企画創造課
☎0279-88-7193
✉kikaku-c@town.kusatsu.gunma.jp

★ 高山村 高山村地域振興課
☎0279-63-2111
✉t-chiiki@vill.takayama.gunma.jp

★ 東吾妻町 東吾妻町企画課
☎0279-68-2111
✉kikaku@town.higashiagatsuma.gunma.jp

★ 片品村 片品村むらづくり観光課
☎0278-58-2112
✉kanko@vill.katashina.lg.jp

川場村 川場村むらづくり振興課
☎0278-52-2111
✉office-2390-2ks@vill.kawaba.gunma.jp

昭和村 昭和村企画課
☎0278-24-5111
✉kikaku@vill.gunma-showa.lg.jp

みなかみ町 みなかみ町地域整備課
☎0278-25-5020
✉office-chisei@town.minakami.gunma.jp

玉村町 玉村町企画課
☎0270-64-7711
✉kikaku@town.tamamura.lg.jp

板倉町 板倉町企画財政課
☎0276-82-1111
✉k-kikaku@town.gunma-itakura.lg.jp

明和町 明和町企画財政課
☎0276-84-3111
✉kikaku@town.gunma-meiwa.lg.jp

千代田町 千代田町総務課
☎0276-86-7007
✉kikaku@town.chiyoda.gunma.jp

大泉町 大泉町企画戦略課
☎0276-63-3111
✉kikaku@town.oizumi.gunma.jp

邑楽町 邑楽町企画課
☎0276-47-5009
✉plan@town.ora.lg.jp



第5章 移住に役立つ知識・データ集

ぐんまの就職・就業相談窓口

企業への就職はもちろん、農業や林業の仕事まで！
群馬県で働くことをサポートしてくれる機関をご紹介します。



【就職】

群馬県若者就職支援センター ジョブカフェぐんま

群馬県が設置する、概ね40歳代前半までの若者を対象とした就職支援施設です。県内に3カ所あり、就職の悩みに関するカウンセリングから職業紹介、就職後のフォローアップまでを一貫支援。また、子育て中の女性を中心とした方の仕事探しをサポートするため、「ジョブカフェ・マザーズ」を併設しています。カウンセリングは予約制なので、初めての方は電話で予約を！

高崎センター ☎027-330-4510

☒高崎市旭町34-5旭ビル3階
☒月曜～土曜(祝日、年末年始を除く)9:00～18:00
※「ジョブカフェ・マザーズ」が併設されています。

東毛サテライト ☎0277-20-8228

☒桐生市本町6-372-2本町六丁目団地1階
☒月・火・木・金・土曜(祝日、年末年始を除く)9:00～18:00

北毛サテライト ☎0278-20-1155

☒沼田市薄根町4412利根沼田振興局4階
☒月・水・金曜(祝日、年末年始を除く)8:30～17:15

ぐんま暮らし支援センター

東京都千代田区有楽町にあるぐんま暮らし支援センター(東京交通会館8階)では、群馬へのU・Iターン移住・就職相談を実施しているほか、県内のハローワーク求人情報、県内や都内で開催される就職関連イベント情報を閲覧することができます(ご利用は予約制です)。

ぐんま暮らし支援センター ☎03-6256-0440

☒東京都千代田区有楽町2-10-1
東京交通会館8階 ふるさと回帰支援センター内
☒火～日曜(祝日、お盆、年末年始を除く)10:00～18:00

【農業】

群馬県内での就農に関して相談できる主な窓口です。興味のある方はぜひ活用してください。

群馬県農政部農業推進政策課

☎027-226-3064 ☒前橋市大手町1-1-1

公益財団法人 群馬県農業公社

☎027-251-1220 ☒前橋市総社町総社2326-2

一般社団法人 群馬県農業会議

☎027-280-6171 ☒前橋市大渡町1-10-7

【林業】

群馬県林業労働力確保支援センターでは、林業就業支援地域アドバイザーによる就業相談を行っています。相談を希望される場合は、事前に支援センターへお問い合わせください。林業就業後の職業能力取得のサポート(緑の雇用)については群馬県森林組合連合会へ、群馬県の森林・林業については群馬県林業振興課へお問い合わせください。

群馬県林業労働力確保支援センター (一般財団法人 群馬県森林・緑整備基金)

☎027-386-5901 ☒北群馬郡榛東村大字新井2935

群馬県森林組合連合会

☎027-261-0615 ☒前橋市上大島町182-20

群馬県環境森林部林業振興課

☎027-226-3237 ☒前橋市大手町1-1-1



ぐんまの移住お役立ちサイト

群馬県への移住ポータルサイトや、体験、住宅関連サイトまで、移住に役立つウェブサイトをご紹介します。



ぐんま暮らしポータルサイト

群馬県35市町村の詳細な情報から、移住者紹介、就職情報、住宅情報などがまとまったポータルサイトです。移住体験イベントの案内など、最新情報も掲載されているので、群馬県への移住検討の際には参考にしてください。



<https://gunmagurashi.pref.gunma.jp/>
「ぐんま暮らし」で検索

ぐんまグリーン・ツーリズム

群馬県内で行われている農業体験や農山村での暮らし体験、農産物加工体験など、農業に関わる体験が網羅されたウェブサイトです。移住を検討しているからこそ群馬県を体験してみたいという方は、ぜひ活用してください。



<http://www.gunma-gt.jp/>

住まい

群馬県内の賃貸物件、売買物件の情報を掲載しているサイトをご紹介します。

一般社団法人 群馬県宅地建物取引業協会

群馬県内約8割の不動産業者が加盟する団体のウェブサイト。賃貸・売買の不動産物件情報や不動産業者を検索することができます。



公益社団法人 全日本不動産協会群馬県本部

全国47都道府県、約3万社の会員業者ネットワークを形成。ホームページの「不動産物件検索」から、県内の豊富な賃貸、売買物件を閲覧することができます。



東京都内の移住・就職窓口

群馬県では東京都内の3カ所で、群馬県への移住や就職に関する相談窓口を設置しています。お気軽にお問い合わせください。

ぐんま暮らし支援センター

連絡先 ☎080-8870-2756(移住)
☎03-6256-0440(就職)

東京都千代田区有楽町2-10-1
東京交通会館8階ふるさと回帰支援センター内
☎10:00~18:00(火~日曜)

※NPOふるさと回帰支援センターの定休日は月曜、祝日、夏季休暇、年末年始です。
※営業時間は都合により変更となる場合もありますので、事前に予約いただくと確実です。



ぐんまちゃん家(ぐんま総合情報センター)

連絡先 ☎03-3571-3086(移住相談・観光案内)
☎03-3571-7761(物産販売)

東京都中央区銀座7丁目10-5 The ORB Luminous1・2階
☎11:00~19:00(年中無休) ※年末年始を除く



群馬県東京事務所

連絡先 ☎03-5212-9102

東京都千代田区平河町2-6-3
都道府県会館8F

☎8:30~18:15(月曜~金曜)
※土曜、日曜、祝日、年末年始は休業



群馬県結婚・子育て応援ポータルサイト ぐんまスマイルライフ

お知らせ

2018.11.22 **出会い・結婚**
あいぶる情報を追加しました。

2018.11.19 **出会い・結婚**
あいぶる情報を追加しました。

2018.11.16 **ぐんまキッズサポート**
協賛店が追加されました。

2018.11.15 **出会い・結婚**
あいぶる情報を追加しました。

イベント情報を探そう

出会い・結婚
あいぶるイベント情報を見る

妊娠・出産
イベント情報を見る

子育て
イベント情報を見る

青少年育成
イベント情報を見る

出会い・結婚
妊娠・出産
子育て
ライフデザイン
青少年育成
少子化対策
etc.

群馬県での結婚から妊娠・出産、子育て支援まで、
さまざまな情報を発信するサイト「ぐんまスマイルライフ」。
イベント情報なども更新されるので、ご参照ください！

ぐんま子育て応援サイト
「子育てネット」もこちらから！



発行／群馬県こども未来部こども政策課

〒371-8570 群馬県前橋市大手町1-1-1

TEL.027-897-2725 FAX.027-226-2100

※本誌掲載の内容は2018年11月現在のものです。